

呼吸器内科

副院長 柴山卓夫
診療部長 米井敏郎
医長 藤原慶一、佐藤賢

● 診療科の特色

- 呼吸器専門医／指導医(日本呼吸器学会)、気管支鏡専門医／指導医(日本呼吸器内視鏡学会)、がん治療認定医(日本がん治療認定医機構)、あるいはがん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)である常勤医師と、呼吸器内科レジデント／専攻医が診療に当たっている。
- 呼吸器系専門病棟(10階B病棟は呼吸器内科と呼吸器外科で構成され、病床数48床)を中心に常時40～60人、年間1000人を超える入院患者に対応している。呼吸器内科と呼吸器外科とが同じフロアで診療しているため、疾患に応じてシームレスで円滑なチーム医療が可能となっている。
- 外来は常勤医師7名が交替で休みなく毎日行っており、1日に30～50名の患者が来院している。
- 肺癌を中心とした胸部悪性疾患、気管支喘息などのアレルギー疾患、間質性肺疾患など、呼吸器疾患全般を幅広くカバーした診療を行っている。これらの疾患は、全身の臓器にまたがっていることが多く、他の診療科と密に連携して治療を行っているのが最大の特徴である。
- 呼吸器科領域全般の多岐にわたる症例が県内外より集まり、24時間オンコール体制を組んで対応、呼吸器インターベンションを含む高度な最先端の医療も提供している。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 1281人

	疾患	患者数
1	肺がん	633
2	胸部異常陰影・検査	193
3	感染性肺炎	179
4	非感染性肺炎	89
5	胸膜疾患	68
6	気管支・肺血管疾患	30
7	気管支喘息	26
8	悪性腫瘍関連	23
9	COPD・呼吸不全	16
10	その他	24
	合計	1281

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
気管支鏡検査数	60	79	89	113	140	197	230	267	205	217
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
気管支鏡検査数	211	252	238	234	310	307	350	362	363	

年度	硬性鏡	ステント留置		EBUS(超音波内視鏡)		BT	EWS	異物除去/気
		シリコンステント	メタルステント	EBUS-TBNA	EBUS-GS	(サーモプラスチック)	(気管支充填術)	管支腫瘍切除
2013	2 例	1 例	3 例	8 例	18 例		4 例	1 例
2014	4 例	3 例	1 例	19 例	73 例		5 例	1 例
2015	10 例	7 例	1 例	24 例	116 例		0 例	3 例
2016	10 例	4 例	1 例	35 例	94 例	6 例	2 例	3 例
2017	10 例	5 例	0 例	45 例	86 例	5 例	3 例	1 例
2018	14 例	2 例	8 例	45 例	100 例	7 例	1 例	1 例
2019	7 例	1 例	6 例	42 例	122 例	3 例	2 例	2 例

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Ninomiya T, Ishikawa N, Inoue K, Kubo T, Yasugi M, Shibayama T, Maeda T, Fujitaka K, Kodani M, Yokoyama T, Kuyama S, Ochi N, Ueda Y, Miyoshi S, Kozuki T, Amano Y, Kubota T, Sugimoto K, Bessho A, Ishii T, Watanabe K, Oze I, Hotta K, Kiura K. Phase 2 Study of Afatinib Alone or Combined With Bevacizumab in Chemo-naïve Patients With Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer Harboring EGFR Mutations: AfaBev-CS Study Protocol. Clin Lung Cancer 2019; 20(2): 134-138.
- 2) Minami D, Takigawa Y, Kayatani H, Sato K, Fujiwara K, Shibayama T. Transoesophageal ultrasound-guided bronchoscopic aspiration of a superior mediastinal tumour using the BF-UC290F instrument. Respirol Case Rep 2019; 7(5): e00427.
- 3) Minami D, Kayatani H, Sato K, Fujiwara K, Shibayama T, Yonei T, Sato T. Clinical Characteristics of Severe Refractory Asthma Associated with the Effectiveness of Bronchial Thermoplasty. Acta Med Okayama 2019; 73(2): 155-160.
- 4) Tamura T, Yabuki T, Kawajiri T, Nishi T, Kudo K, Kuyama S. Transcatheter embolization for idiopathic peripheral pulmonary arterial aneurysm: A case report. Clin Case Rep 2019; 7(5): 1021-1024.
- 5) Ninomiya K, Hata T, Yoshioka H, Ohashi K, Bessho A, Hosokawa S, Ishikawa N, Yamasaki M, Shibayama T, Aoe K, Kozuki T, Harita S, Ueda Y, Murakami T, Fujimoto N, Yanai H, Toyooka S, Takata M, Hotta K, Kiura K; HER2-CS Network. A Prospective Cohort Study to Define the Clinical Features and Outcome of Lung Cancers Harboring HER2 Aberration in Japan (HER2-CS STUDY). Chest 2019; 156(2): 357-366.
- 6) Harada D, Kozuki T, Nogami N, Bessho A, Hosokawa S, Fukamatsu N, Hotta K, Ohashi K, Kubo T, Yoshioka H, Yokoyama T, Sone N, Kuyama S, Kudo K, Yasugi M, Takigawa N, Oze I, Kiura K. A phase I/II trial of weekly nab-paclitaxel for pretreated non-small-cell lung cancer patients without epidermal growth factor receptor mutations and anaplastic lymphoma kinase rearrangement. Asia Pac J Clin Oncol 2019; 15(4): 250-256.
- 7) Watanabe H, Kubo T, Ninomiya K, Kudo K, Minami D, Murakami E, Ochi N, Ninomiya T, Harada D, Yasugi M, Ichihara E, Ohashi K, Fujiwara K, Hotta K, Tabata M, Maeda Y, Kiura K. The effect and safety of immune checkpoint inhibitor rechallenge in non-small cell lung cancer. Jpn J Clin Oncol 2019; 49(8): 762-765.
- 8) Higo H, Ohashi K, Makimoto G, Nishii K, Kudo K, Kayatani H, Watanabe H, Kano H, Ninomiya K, Hotta

- K, Maeda Y, Kiura K. EGFR-TKI acquired resistance in lung cancers harboring EGFR mutations in immunocompetent C57BL/6J mice. *Lung Cancer* 2019; 136: 86–93.
- 9) Ozeki T, Fujiwara K, Shimonishi A, Nishimura J, Okawa S, Takada K, Kayatani H, Minami D, Sato K, Shibayama T. Bilateral Testicular Metastases from Lung Adenocarcinoma Showing an Objective Response to Nivolumab: A Case Report and Review of the Literature. *Intern Med* 2019; 58(22): 3277–3282.
- 10) Ichihara E, Harada D, Inoue K, Sato K, Hosokawa S, Kishino D, Watanabe K, Ochi N, Oda N, Hara N, Hotta K, Maeda Y, Kiura K. The impact of body mass index on the efficacy of anti-PD-1/PD-L1 antibodies in patients with non-small cell lung cancer. *Lung Cancer* 2020; 139: 140–145.
- 11) Okawa S, Fujiwara K, Shimonishi A, Matsuura H, Ozeki T, Nishimura J, Kayatani H, Minami D, Shinno Y, Sato K, Ota K, Shibayama T. Rapidly Progressive Acute Kidney Injury Associated with Nivolumab Treatment. *Case Rep Oncol* 2020; 13(1): 85–90.
- 12) Makimoto G, Hotta K, Oze I, Ninomiya K, Nakanishi M, Hara N, Kano H, Watanabe H, Hata Y, Nishii K, Nakasuka T, Itano J, Ninomiya T, Kubo T, Ohashi K, Ichihara E, Minami D, Sato A, Tabata M, Maeda Y, Kiura K. Patients' preferences and perceptions of lung cancer treatment decision making: results from Okayama lung cancer study group trial 1406. *Acta Oncol* 2020; 59(3): 324–328.
- 13) Higo H, Miyahara N, Taniguchi A, Senoo S, Itano J, Watanabe H, Oda N, Kayatani H, Ichikawa H, Shibayama T, Kajimoto K, Tanimoto Y, Kanehiro A, Maeda Y, Kiura K; OKAYAMA respiratory disease study group (ORDSG). Deterioration of high-resolution computed tomography findings predicts disease progression after initial decline in forced vital capacity in idiopathic pulmonary fibrosis patients treated with pirfenidone. *Respir Investig* 2020; 58(3): 30020–30024.
- 14) 瀧川雄貴, 南大輔, 佐藤賢, 西村淳, 尾関太一, 大川祥, 高田健二, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫. 食道に接する肺腺癌の診断に EUS-B-FNA が有用であった 1 例. *気管支学* 2019; 41(3): 298–302.
- 15) 瀧川雄貴, 佐藤賢, 南大輔, 西村淳, 尾関太一, 大川祥, 高田健二, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫. 大腸癌気管分岐部転移に対し気管支動脈塞栓術後に Dumon Y®ステントを留置した 1 例. *気管支学* 2019; 41(4): 401–406.

2. 学会、研究会

- 1) 当院におけるニューモシスチス肺炎の予後因子の臨床的検討
南大輔, 下西惇, 西村淳, 尾関太一, 高田健二, 大川祥, 萱谷紘枝, 佐藤賢, 藤原慶一, 柴山卓夫, 米井敏郎, 佐藤利雄
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会, 2019 年 4 月 12 日
- 2) 高齢者非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の効果と安全性に関する後方視的検討
久保寿夫, 渡邊洋美, 二宮貴一郎, 工藤健一郎, 南大輔, 村上悦子, 越智宣昭, 二宮崇, 原田大二郎, 八杉昌幸, 市原英基, 大橋圭明, 藤原慶一, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会, 2019 年 4 月 13 日
- 3) 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の再投与についての後方視的検討
渡邊洋美, 久保寿夫, 二宮貴一郎, 工藤健一郎, 南大輔, 村上悦子, 越智宣昭, 二宮崇, 原田大二郎, 八杉昌幸, 市原英基, 大橋圭明, 藤原慶一, 堀田勝幸, 田端雅弘, 前田嘉信, 木浦勝行
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会, 2019 年 4 月 13 日
- 4) Comparing the Clinical Performance of the New 19G ViziShot FLEX and 21G or 22G ViziShot 2

EBUS-TBNA Needles Minami D, Ozeki T, Okawa S, Takada K, Iwamoto Y, Kayatani H, Sato K, Fujiwara K, Shibayama T American

Thoracic Society International Conference 2019, 2019/5/17

5) Impact of HER2 aberrations on EGFR-TKI treatment outcomes in lung tumors harboring EGFR

mutations: A HER2-CS STUDY subset analysis Kayatani H, Aoe K, Ohashi K, Yoshioka H, Bessho A, Ishikawa N, Yamasaki M, Kozuki T, Fujimoto N, Ueda Y, Bandoh S, Murakami I, Ichikawa H, Kubota T, Sugimoto K, Takigawa N, Sumikawa T, Kiura K

2019 ASCO Annual Meeting, 2019/6/2

6) BF-U290F を用いた超音波気管支鏡ガイド下生検(EBUS-TBNA)の有用性

南大輔, 瀧川奈義夫, 下西惇, 西村淳, 尾関太一, 高田健二, 大川祥, 萱谷紘枝, 佐藤賢, 藤原慶一, 柴山卓夫

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 4 日

7) フェンタニル, ミダゾラム併用下の気管支鏡検査におけるリアルタイム呼気二酸化炭素モニタリングの有用性

南大輔, 瀧川奈義夫, 下西惇, 西村淳, 尾関太一, 高田健二, 大川祥, 萱谷紘枝, 佐藤賢, 藤原慶一, 柴山卓夫

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 4 日

8) 心房細動に対する MAZE 手術により肺静脈狭窄・気管支狭窄を来した一例

大川祥, 佐藤賢, 大西桐子, 栗林忠弘, 瀧川雄貴, 尾関太一, 西村淳, 高田健二, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 柴山卓夫

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 4 日

9) AERO スtent が有用であった結核性気管支狭窄の一例

栗林忠弘, 佐藤賢, 瀧川雄貴, 下西惇, 尾関太一, 西村淳, 大川祥, 高田健二, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 佐藤利雄, 柴山卓夫

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 4 日

10) 気管支サーモプラスティ有効症例の気管支喘息フェノタイプの検討

下西惇, 南大輔, 西村淳, 尾関太一, 高田健二, 大川祥, 萱谷紘枝, 佐藤晃子, 佐藤賢, 藤原慶一, 柴山卓夫, 米井敏郎, 佐藤利雄

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 5 日

11) 当科で 3 年間に呼吸器インターベンションを施行した気管支腫瘍の 10 例

瀧川雄貴, 佐藤賢, 南大輔, 大西桐子, 栗林忠弘, 光宗翔, 下西惇, 尾関太一, 西村淳, 大川祥, 高田健二, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 5 日

12) 多発石灰化リンパ節, 甲状腺転移有する肺腺癌の診断に BF-U290F を用いた EBUS-TBNA が有効であった肺腺癌の 1 例

大西桐子, 南大輔, 藤原慶一, 下西惇, 西村淳, 尾関太一, 高田健二, 大川祥, 萱谷紘枝, 佐藤賢, 柴山卓夫, 米井敏郎, 佐藤利雄

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 5 日

13) 経食道的気管支鏡下穿刺吸引生検法により診断でき放射線化学療法が有効であった肺腺癌の 1 例

佐藤賢, 瀧川雄貴, 栗林忠弘, 大西桐子, 尾関太一, 西村淳, 下西惇, 大川祥, 高田健二, 萱谷紘枝, 南

- 大輔, 佐藤晃子, 藤原慶一, 米井敏郎, 佐藤利雄, 柴山卓夫
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月 5 日
- 14) 肺野結節の診断に経食道的気管支鏡下穿刺吸引生検法が有用であった肺腺癌の 1 例
松岡篤志, 南大輔, 佐藤賢, 下西惇, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫, 米井敏郎
第 58 回日本肺癌学会中国・四国支部学術集会, 2019 年 7 月 14 日
- 15) ニボルマブ投与後数日の経過で急性尿細管間質性腎炎を来した 1 例
藤田莉緒, 藤原慶一, 大川祥, 下西惇, 尾関太一, 西村淳, 松浦宏昌, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤賢, 太田康介, 柴山卓夫
第 58 回日本肺癌学会中国・四国支部学術集会, 2019 年 7 月 14 日
- 16) エルロチニブ投与時のミノサイクリン併用の有用性を検討するランダム化比較試験 H25-NHO (癌呼)-0
柴山卓夫
第 73 回国立病院総合医学会, 2019 年 11 月 8 日
- 17) 抗 ARS 抗体陽性間質性肺炎, 多発石灰化リンパ節, 甲状腺転移を有する肺腺癌に CBDCA+nab-PTX が奏功した 1 例
山原美穂, 南大輔, 藤原慶一, 萱谷紘枝, 佐藤賢, 下西惇, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 柴山卓夫, 米井敏郎
第 62 回日本呼吸器学会中国・四国地方会, 2019 年 11 月 23 日
- 18) 肺扁平上皮癌に対するニボルマブ療法中に視神経周囲炎を来した一例
安東愛理, 藤原慶一, 下西惇, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤賢, 柴山卓夫
第 62 回日本呼吸器学会中国・四国地方会, 2019 年 11 月 23 日
- 19) V-V ECMO 下の AERO スtent留置術が有用であった縦隔型肺扁平上皮癌の 1 例
下西惇, 南大輔, 佐藤賢, 濱井宏介, 石川陽久, 松浦宏昌, 西村淳, 尾関太一, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫, 米井敏郎
第 28 回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会, 2019 年 11 月 24 日
- 20) 硬性気管支鏡
南大輔
第 62 回日本呼吸器学会中国・四国地方会, 2019 年 11 月 24 日
- 21) BF-U290F を用いた経食道的気管支鏡下穿刺吸引生検法が診断に有用であった縦隔型肺扁平上皮癌の 1 例
西村淳, 南大輔, 佐藤賢, 下西惇, 松浦宏昌, 尾関太一, 萱谷紘枝, 藤原慶一, 柴山卓夫, 米井敏郎
第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 6 日
- 22) NSCLC に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果予測のための TBNA またはセルブロック検体を用いた PD-L1 測定
原尚史, 市原英基, 原田大二郎, 井上孝司, 藤原慶一, 細川忍, 岸野大蔵, 川井治之, 越智宣昭, 小田尚廣, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行
第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 6 日
- 23) 間質性肺炎合併肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果, 安全性の検討
小田尚廣, 市原英基, 原田大二郎, 井上孝司, 柴山卓夫, 細川忍, 岸野大蔵, 張田信吾, 越智宣昭, 高田一郎, 原尚史, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 6 日

24) 両側精巣転移を来たし nivolumab が奏功した肺腺癌の一例

尾関太一, 藤原慶一, 下西惇, 西村淳, 松浦宏昌, 萱谷紘枝, 南大輔, 佐藤賢, 柴山卓夫, 米井敏郎

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 6 日

25) PD-L1 陽性既治療非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の有効性に関する後方視的検討

森俊太, 市原英基, 原田大二郎, 細川忍, 井上孝司, 南大輔, 岸野大蔵, 張田信吾, 越智宣昭, 小田尚廣, 原尚史, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 7 日

26) 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果と抗菌薬使用に関する後方視的検討

越智宣昭, 市原英基, 山根弘路, 瀧川奈義夫, 原田大二郎, 井上孝司, 柴山卓夫, 細川忍, 岸野大蔵, 張田信吾, 小田尚廣, 原尚史, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 7 日

27) 非小細胞肺癌患者における胸部照射歴と免疫チェックポイント阻害剤の治療効果の関連性に関する後方視的検討

細川忍, 市原英基, 別所昭宏, 原田大二郎, 井上孝司, 柴山卓夫, 岸野大蔵, 張田信吾, 越智宣昭, 小田尚廣, 原尚史, 堀田勝幸, 前田嘉信, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 7 日

28) EGFR 陽性非小細胞肺癌に対するアファチニブ/ペバシズマブ併用療法第 I 相試験:OLCSG1404 2 年後解析

野上尚之, 上月稔幸, 原田大二郎, 二宮崇, 久保寿夫, 大橋圭明, 久山彰一, 工藤健一郎, 別所昭宏, 藤本伸一, 青江啓介, 柴山卓夫, 南大輔, 杉本啓介, 越智宣昭, 瀧川奈義夫, 堀田勝幸, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 8 日

29) EGFR 変異肺癌(EGFR+)における HER2 発現と EGFR-TKI の治療効果:HER2-CS study サブセット解析

青江啓介, 大橋圭明, 二宮貴一郎, 柴山卓夫, 吉岡弘鎮, 別所昭宏, 石川陽久, 山崎正弘, 上月稔幸, 藤本伸一, 上田裕, 村上斗司, 張田信吾, 板東修二, 村上功, 市川裕久, 窪田哲也, 堀田勝幸, 木浦勝行

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 8 日

30) エルロチニブ投与時のミノサイクリン併用の有用性を検討するランダム化比較試験

豊澤亮, 竹之山光広, 田村厚久, 是枝快房, 北俊之, 遠藤健夫, 柴山卓夫, 畠山陽生, 三浦昌朋, 上月稔幸

第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月 8 日

3. 講演

1) EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能 III 期肺癌に対する治療

萱谷紘枝

第 5 回肺癌医師ディスカッションの会, 2019 年 6 月 28 日

2) 放射線肺臓炎合併のため durvalumab 投与を中断した症例 その後・・・

藤原慶一

Pneumonitis Management Academia, 2019 年 7 月 26 日

3) 間質性肺炎

藤原慶一

第 29 回 QOL“輪唱”岡山講演会, 2019 年 9 月 23 日

4) 非小細胞肺癌の化学療法

藤原慶一

腫瘍勉強会, 2019 年 10 月 31 日

5) 肺がん症例の Biopsy に関する最新の話

南大輔

Lung Cancer Meeting in Hiroshima, 2019 年 11 月 1 日

6) 肺癌診療における気管支鏡手技—気管支鏡検査時の鎮静導入の有用性—

南大輔

高知肺疾患セミナー, 2019 年 11 月 20 日

7) がん疼痛管理とヒドロモルフォン

藤原慶一

Cancer-Associated Thrombosis セミナー, 2019 年 12 月 10 日

● 診療科の特色

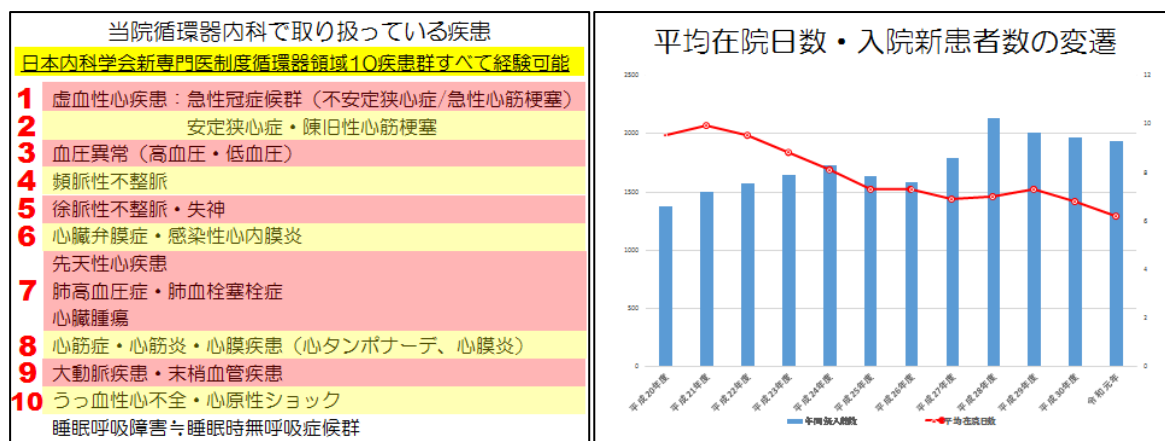
- ・ ほぼあらゆる成人の心臓血管疾患の診療に対応可能である。
- ・ いわゆる心臓病専門施設では対応不可能な、多臓器にわたる合併症を持つ患者さんに対しても、総合病院である特性を活かし、他科と連携しながらチームとして診療にあたっている。
- ・ 高速道路網を活かした独自の医療圏を構築している。
- ・ 肺高血圧症においては、国内随一の治療成績を誇り、診療・研究両面でわが国のリーダー的存在であり、今や国内のみならず海外からも医師・コメディカルが見学・研修に来院している。
- ・ リハビリテーション科心臓リハビリテーション専門医による、質の高い心臓リハビリテーションを実施している。

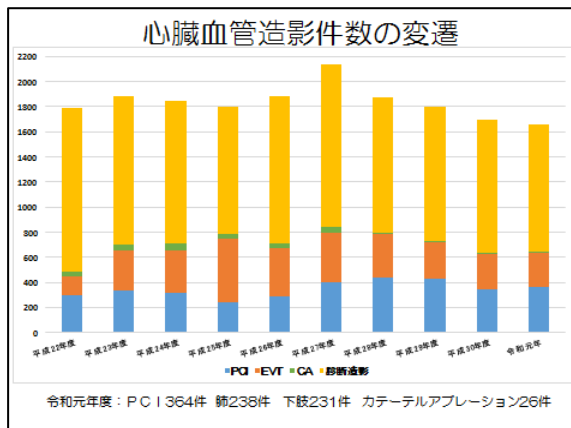
● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

新入院患者数 1,939 人

	疾患	患者数
1	狭心症	818
2	肺高血圧症・慢性血栓塞栓症肺高血圧症	556
3	心不全	166
4	陳旧性心筋梗塞・無症候性心筋虚血	67
5	閉塞性動脈硬化症	43
6	急性心筋梗塞	35
7	不整脈疾患	34
8	肺動脈狭窄症	19
9	ペースメーカー電池消耗	14
10	急性肺塞栓症	21



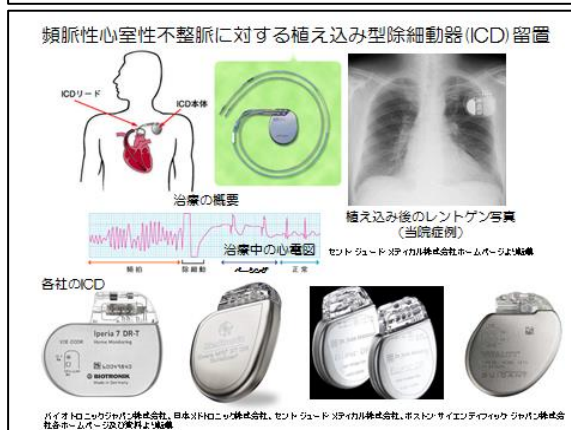
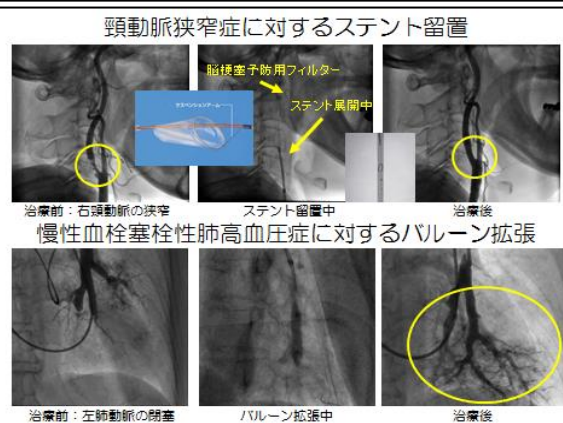
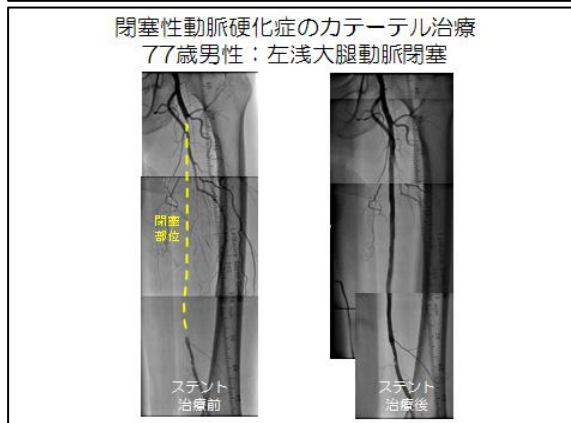
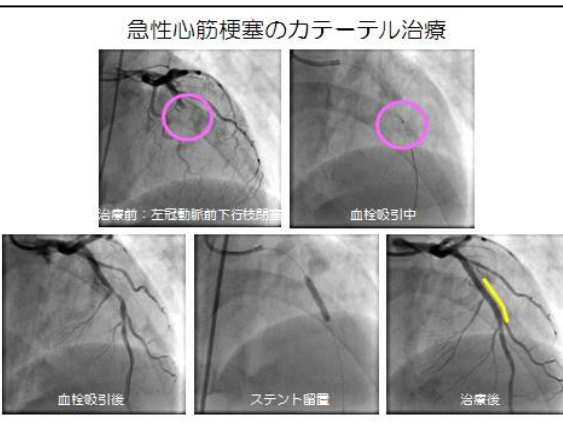
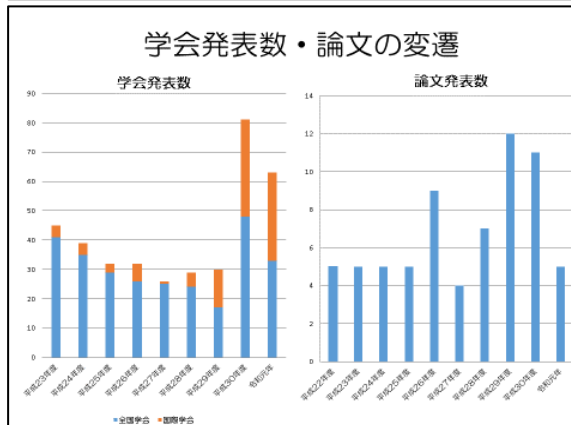


当院における最近5年の心臓血管造影の詳細

	平成27 (2015)年	平成28 (2016)年	平成29 (2017)年	平成30 (2018)年	令和元年 (2019)年
全心臓血管造影件数	1880	2137	2418	1973	1875
PCI総計	363	434	425	346	364
うちrotablator施行	20	35	7	5	21
EVT総計	401	446	293	348	284
下枝EVT	48	48	54	54	30
PTRA/RAS	1	1	1	2	2
CAS	12	13	8	11	12
その他(シャントなど)	10	10	7	4	2
BPA(肺動脈拡張術)	335	380	223	277	238
IVCフィルター挿入	7	10	6	5	0

PCI: percutaneous coronary intervention, EVT: endovascular treatment, PTRA: percutaneous transluminal renal angioplasty, RAS: renal artery stenting, CAS: carotid artery stenting, BPA: balloon pulmonary angioplasty

※ 令和元年度：第5回QUETエキスパートレクチャー発表資料、平成24年10月6日(小倉)より一部改変



● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Karyofyllis P, Demerouti E, Papadopoulou V, Voudris V, Matsubara H. Balloon Pulmonary Angioplasty as a Treatment in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Past, Present, and Future. Curr Treat Options Cardiovasc Med.2020
- 2) Chausheva S, Naito A, Ogawa A, Seidl V, Winter MP, Sharma S, Sadushi-Kolici R, Campean IA, Taghavi S, Moser B, Klepetko W, Ishida K, Matsubara H, Sakao S, Lang IM. Chronic thromboembolic pulmonary hypertension in Austria and Japan. The Journal of thoracic and cardiovascular surgery.2019.158. 604–614.e2
- 3) Ohshima A, Koyama T, Ogawa A, Zamami Y, Tanaka YH, Kitamura Y, Sendo T, Hinotsu S, Miller M, Kano RM. Oral Anticoagulants usage in Japanese Patients aged 18–74 years with Non-Valvular Atrial Fibrillation: a retrospective analysis based on insurance claims data. Family Practice.2019.36. 685–692
- 4) Ogawa A, Matsubara H. Should oral combination therapy be the standard of care for pulmonary arterial hypertension?. Expert Review of Respiratory Medicine.2020.14. 341–343
- 5) Fukuda K. Date H. Doi S. Fukumoto Y. Fukushima N. Hatano M. Ito H. Kuwana M. Matsubara H. Momomura SI. Nishimura M. Ogino H. Satoh T. Shimokawa H. Yamauchi-Takahara K. Tatsumi K. Ishibashi-Ueda H. Yamada N. Yoshida S. Abe K. Ogawa A. Ogo T. Kasai T. Kataoka M. Kawakami T. Kogaki S. Nakamura M. Nakayama T. Nishizaki M. Sugimura K. Tanabe N. Tsujino I. Yao A. Akasaka T. Ando M. Kimura T. Kuriyama T. Nakanishi N. Nakanishi T. Tsutsui H. Guidelines for the Treatment of Pulmonary Hypertension (JCS 2017/JCPHS 2017). Circulation Journal .2019.83
- 6) Chausheva S, Naito A, Ogawa A, Seidl V, Winter MP, Sharma S, Sadushi-Kolici R, Campean IA, Taghavi S, Moser B, Klepetko W, Ishida K, Matsubara H, Sakao S, Lang IM. Chronic thromboembolic pulmonary hypertension in Austria and Japan. The Journal of thoracic and cardiovascular surgery.2019.158. 604–614.e2
- 7) Ohshima A, Koyama T, Ogawa A, Zamami Y, Tanaka YH, Kitamura Y, Sendo T, Hinotsu S, Miller M, Kano RM. Oral Anticoagulants usage in Japanese Patients aged 18–74 years with Non-Valvular Atrial Fibrillation: a retrospective analysis based on insurance claims data. Family Practice.2019.36. 685–692
- 8) 小川 愛子.【肺高血圧症—診断・治療の最新動向—】肺高血圧症の治療 肺静脈閉塞症(PVOD)/肺毛細血管腫症(PCH)による肺高血圧症
- 9) 松原 広己.【肺高血圧症—診断・治療の最新動向—】肺高血圧症の治療 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するBPA
- 10) 松原 広己, 小川 愛子. タイプ別 肺高血圧症診療のポイント ガイドラインにみる肺静脈閉塞性疾患(PVOD)診療のポイント
- 11) 内藤 貴教, 下川原 裕人, 松原 広己.【肺高血圧症診療最前線—これからの肺高血圧症診療に向けて】慢性血栓塞栓性肺高血圧症の治療最前線
- 12) 内藤 貴教, 下川原 裕人, 松原 広己.【心不全(第2版)下—最新の基礎・臨床研究の進歩—】心不全の併存症 病態・治療 肺高血圧 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する肺動脈形成術
- 13) 小川 愛子. XIII. 肺血管疾患 10. 肺静脈閉塞症肺毛細血管腫症(PVOD/PCH)
- 14) 小川 愛子. 厚生労働省 PAH 診療ガイドライン システマティックレビュー IPAH/HPAH の抗凝固療法
- 15) 岡崎 麻利, 小川 愛子. 第IX章 血管疾患 D 肺高血圧症

2. 学会、研究

1) Session Title: SUNRISE SYMPOSIUM: A Fork in the Road: How Can We Compare Interventional Therapies in CTEPH?

Balloon Pulmonary Angioplasty: Defining Essential Differences in Procedure Technique and Uniform Definitions of Complications.

Ogawa A

International Society for Heart and Lung Transplantation 2019 2019 年 4 月 6 日

2) Interventional symposium and Special lecture(Moderator, Speaker)Current management of CTEPH in JAPAN
H.Matsubara

1st East Asia Society of Pulmonary Hypertension (Taipei,TAIWAN) 2019 年 4 月 13 日

3) 肺動脈血栓(CTEPH)

松原 広己

日本心エコー図学会第 30 回学術集会 2019 年 5 月 12 日

4) The role of BPA on the treatment of CTEPH

下川原 裕人

CMIT2019 2019 年 6 月 1 日

5) Hot topics in pulmonry hypertension (group 4): Interventional Treatment

Balloon Pulmonary Angioplasty Lecture.

H.Matsubara

3rd Panhellenic Congress of Pulmonary Hypertension (Athens, GREECE) 2019 年 6 月 7 日

6) Lowering mPAP as a Treatment Goal in PAH.

H.Matsubara

3rd Panhellenic Congress of Pulmonary Hypertension (Athens, GREECE) 2019 年 6 月 7 日

7) R2-5. 心原性ショックで来院し、急速な経過をたどった後、剖検にて心アミロイドーシスと診断された 1 例.

石井 貴大

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 8 日

8) O2-6. カテーテル血栓吸引・破砕術により良好な転機を得た広範型肺血栓塞栓症の一例.

的場 將城

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 8 日

9) R3-18. 経過中に深部静脈血栓症を発症した Stanford B 型急性大動脈解離の一例.

前田 恵実

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 8 日

10) O4-60. 癌性心膜炎による心嚢液貯留に対して加療を行った 3 例

林 和菜

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 8 日

11) O5-73. 妊娠経過中にうっ血性心不全を認め、周産期心筋症と頻脈誘発性心筋症の鑑別に苦慮した妊婦の 1 例

西原 大裕

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 8 日

12) 肺高血圧症の診断と治療 Up tp Date

松原 広己

第 114 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2019 年 6 月 9 日

13) 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症(PVOD/PCH)を見極める

小川 愛子

第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2019 年 6 月 21 日

14) パネルディスカッション 3 CTEPH 治療 State of the Art BPA

松原 広己

第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 2019 年 6 月 22 日

15) Update on BPA, Decision, Complications and Outcome

H.Matsubara

3rd Pulmonary Vascular Diseases Summit (Tabriz,IRAN) 2019 年 6 月 28 日

16) CTEPH 診断アルゴリズムにおける薬物治療の位置づけ

松原 広己

第 39 回日本静脈学会総会 2019 年 7 月 4 日

17) Stent jail した対角枝の高度石灰化病変に対して GuideLiner を用いて Rotablator を施行した 1 例

西原 大裕

TOPIC2019 2019 年 7 月 12 日

18) 感染性心内膜炎加療中、疣贅による右冠動脈塞栓を認め、カテーテルにより疣贅を回収し得た一例

辻 真弘

第89回岡山心血管造影研究会 2019 年 7 月 20 日

19) CTEPH/PAH Treatment in Japan

H.Matsubara

Kaohsiung Veterans General Hospital Critical Care Center 9th International Critical Care Congress (Kaohsiung, TAIWAN) 2019 年 8 月 17 日

20) The hemodynamic improvement with balloon pulmonary angioplasty in chronic thromboembolic pulmonary hypertension depends on the lesion location.

Takahiro NISHIHARA

ESC Congress 2019 (Paris,FRANCE) 2019 年 9 月 2 日

21) The utility of additional balloon pulmonary angioplasty for residual hypoxemia in normohemodynamic chronic thromboembolic pulmonary hypertension patients after invasive treatments. .

Hiroto SHIMOKAWAHARA

ESC Congress 2019 (Paris,FRANCE) 2019 年 9 月 2 日

22) Emerging experience with pulmonary balloon angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension

H.Matsubara

ESC Congress 2019 (Paris,FRANCE) 2019 年 9 月 2 日

23) 「静脈血栓塞栓症の診断と治療」

宗政 充

日本超音波学会第55回中国地方会学術集会ランチョンセミナー1 2019 年 9 月 7 日

24) Covered stent 留置について左冠動脈穿孔を Bail out できた一例

内藤 貴教

第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中四国地方会 2019 年 9 月 7 日

25) 右内頸動脈高度狭窄に対して頸動脈ステント留置術を施行したのち遷延した一例

藤井 千尋

第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中四国地方会 2019 年 9 月 7 日

26) 感染性心内膜炎加療中、疣贅による右冠動脈塞栓を認め、カテーテルにより疣贅を回収し得た一例

辻 真弘

第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中四国地方会 2019 年 9 月 7 日

27) 両側総腸骨動脈狭窄に対し VIABAHN VBN を用いて加療を行った 1 例

林 和菜

第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中四国地方会 2019 年 9 月 8 日

28) Stent jail した対角枝の高度石灰化病変に対して GuideLiner を用いて Rotablator を施行した 1 例

西原 大裕

第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中四国地方会 2019 年 9 月 8 日

29) JCC ケースカンファレンス【地域医療/実地医家委員会企画】

内藤 貴教

第 67 回日本心臓病学会学術集会 2019 年 9 月 13 日

30) 悪性リンパ腫患者に併発した静脈血栓症の検討

宗政 充

第 67 回日本心臓病学会学術集会 2019 年 9 月 14 日

31) 一般演題(口演): ケースから学ぶ 6

松原 広己

第 67 回日本心臓病学会学術集会 2019 年 9 月 14 日

32) [JS2-2] Interventional Treatment for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension in Japan

松原 広己

CVIT2019 2019 年 9 月 19 日

33) [MP32-004] 急性肺塞栓に対して血栓吸引を施行した症例

辻 真弘

CVIT2019 2019 年 9 月 19 日

34) [S45-003] 当施設における冠動脈病変を合併した内頸動脈狭窄症の治療戦略と成績

宗政 充

CVIT2019 2019 年 9 月 21 日

35) [MP32-005] 下大静脈血栓症に対する経カテーテル的血栓破砕術が著効した 1 例

林 和菜

CVIT2019 2019 年 9 月 21 日

36) [MP5-001] 難治性下肢深部静脈血栓症に対してカテーテル血栓溶解療法が著効した 1 例

西原 大裕

CVIT2019 2019 年 9 月 21 日

37) [MP15-007] 経皮的冠動脈形成術困難であった内臓逆位を伴う右胸心の一例

内藤 貴教

CVIT2019	2019 年 9 月 21 日
38) Therapeutic limitations of oral medications to normalize hemodynamics in patients with pulmonary artery hypertension.	
H.Shimokawahara	
ERS2019	2019 年 9 月 29 日
39) Interventional therapeutic approach for patients with isolated peripheralpulmonary artery stenosis in adulthood	
M.tsuji	
ERS2019	2019 年 10 月 2 日
40) 後期高齢者に対する頸動脈ステント留置後の予後の検討 stenosis in adulthood	
宗政 充	
第 31 回日本老年医学会中国地方会	2019 年 10 月 5 日
41) 筋強直性ジストロフィーに合併した心不全に対し心臓再同期療法を施行し、新機能の改善を得た一例	
守屋 真我	
日本内科学会 第 121 回中四国地方会	2019 年 10 月 5 日
42) カテーテル血栓吸引術が奏功した、心肺停止に陥った肺血栓塞栓症の 1 例	
白石 裕雅	
日本内科学会 第 121 回中四国地方会	2019 年 10 月 5 日
43) Balloon pulmonary angioplasty: complex cases & technical updates	
H.Matsubara	
ENCORE SEOUL 2019 (Seoul, KOREA)	2019 年 10 月 10 日
44) 10/18(Speaker)	
BPA procedure: state of the art in CTEPH and mechanisms of complications	
Special cases(Speaker) Too distal case	
H.Matsubara	
BPA registry investigator meeting (London,UK)	2019 年 10 月 18 日
45) Lowering mPAP as Treatment Goal in PAH	
H.Matsubara	
IMPAHCT (Buenos Aires,ARGENTINA)	2019 年 10 月 25 日
46) Stent jail した対角枝の高度石灰化病変に対して GuideLiner を用いて Rotablator を施行した1例	
田渕 勲	
第 90 回岡山心血管造影研究会	2019 年 11 月 2 日
47) New thought for pulmonary hypertension(Speaker) CTEPH 2019	
Special lecture(Speaker)Could we recommend pregnancy in female PAH patient ?	
H.Matsubara	
4th Korean Pulmonary Hypertension Society Annual Scientific Symposium (KPHS2019)	
(Seoul,KOREA)	2019 年 11 月 2 日
48) Angioplastia Pulmonar	
H.Matsubara	
XXXI Mexican Congress of Cardiology (Queretaro,MEXICO)	2019 年 11 月 10 日

- 49) Pulmonary angioplasty with balloon
H.Matsubara
XXXI Mexican Congress of Cardiology (Queretaro,MEXICO) 2019 年 11 月 11 日
- 50) The Last Frontier? Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
H.Matsubara
AHA 2019 (Philadelphia,USA) 2019 年 11 月 17 日
- 51) 冠動脈拡張症が原因で急性心筋梗塞を発症し、多量の血栓の処理に難渋した 3 例
西原 大裕
ARIA2019 2019 年 11 月 21 日
- 52) ACS に対する Imaging の活用法
宗政 充
ARIA2019 2019 年 11 月 21 日
- 53) Current management of PAH patients in Okayama. The role of triple combination therapy
H.Matsubara
Pulmonary Arterial Hypertension Masterclass Combination therapy with use of epoprostenol (Krakow, POLAND) 2019 年 11 月 21 日
- 54) CTEPH hybrid therapy
H.Matsubara
Annual meeting of the Pulmonary Circulation Working Group of the Polish Cardiac Society (Katowice,POKAND) 2019 年 11 月 22 日
- 55) Past 20 years fighting with PH
H.Matsubara
Annual meeting of the Pulmonary Circulation Working Group of the Polish Cardiac Society (Katowice,POKAND) 2019 年 11 月 22 日
- 56) 「慢性血栓塞栓性肺高血圧症の治療」
松原 広己
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 57) 感染性心内膜炎加療中、疣贅による右冠動脈塞栓を認め、カテーテルにより疣贅を回収し得た一例
白石 裕雅
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 58) 失神精査中に偶発的に右冠動脈起始異常を認め CABG を施行した一例
藤井 千尋
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 59) 下肢の紫斑から診断に至った栄養要求性連鎖球菌による感染性心内膜炎の一例
福田 能丈
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 60) 洞不全症候群を発症した右胸心の患者にペースメーカーを植込みした一例
松岡 篤志
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日

- 61) 中枢型慢性血栓塞栓性肺高血圧症の対して肺動脈内膜剥離術を施行した一例
林 和菜
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 62) O30 心室中隔穿孔合併心筋梗塞に対して保存的加療後に待機的手術を行い救命し得た 1 例
西原 大裕
第 115 回 日本循環器学会中国地方会 2019 年 11 月 30 日
- 63) Complex CTEPH cases in Okayama: How I treated
H.Matsubara
ASAN CTEPH Symposium 2019 (Seoul,KOREA) 2019 年 12 月 14 日
- 64) Early Prostanoid Therapy in PAH
H.Matsubara
ASAN CTEPH Symposium 2019 (Seoul,KOREA) 2019 年 12 月 14 日
- 65) State of Art Lecture: Longterm outcomes of Balloon Pulmonary Angioplast for CTEPH
H.Matsubara
Singapore LIVE 2020 (Singapore, SINGAPORE) 2019 年 12 月 17 日
- 66) Balloon Pulmonary Angioplasty – step-by-step; treatment philosophy; outcomes
H.Matsubara
Singapore LIVE 2020 (Singapore, SINGAPORE) 2019 年 12 月 18 日
- 67) Prevention and management of Balloon Pulmonary Angioplasty complication
H.Matsubara
Singapore LIVE 2020 (Singapore, SINGAPORE) 2019 年 12 月 18 日
- 68) Case presentation / discussion 3 – My most educational BPA case
H.Matsubara
Singapore LIVE 2020 (Singapore, SINGAPORE) 2019 年 12 月 18 日
- 69) 当院におけるリードレスペースメーカーの使用経験
大野 開成
埋込みデバイス関連冬季大会 2020 年 2 月 7 日
- 70) Session 7: CTEPH; BPA: Prime time!
H.Matsubara
SAPH2020
(The 13th Annual Conference of the Saudi Association for Pulmonary Hypertension) (Riyadh, Saudi Arabia) 2020 年 2 月 15 日
- 3 講演
- 1) テルモ社製品 Altaview の適正使用を目的としたグループミーティング
重歳 正尚、田渕 勲、内藤 貴教
岡山シティホテル厚生町 2019 年 4 月 11 日
- 2) (仮)CTEPH に関する情報提供
松原 広己、下川原 裕人
Okayama CTEPH Experts Meeting 2019 年 4 月 15 日

3) INPACT Admiral 適正使用についての講演会 宗政 充 四国こどもとおとなの医療センター	2019 年 4 月 15 日
4) 静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法の課題 宗政 充 柳井医師会館学術講演会	2019 年 4 月 26 日
5) STENTLESS PCI SUMMIT OKAYAMA 宗政 充 メルパルク岡山	2019 年 5 月 10 日
6) 肺高血圧症の最新の治療 松原 広己 岡山心臓血管研究会	2019 年 5 月 15 日
7) 肺高血圧症の最新の治療 松原 広己 第 10 回山形肺高血圧症研究会	2019 年 5 月 24 日
8) CTEPH&BPA update 宗政 充 大阪市立大学医学部附属病院	2019 年 5 月 27 日
9) KIC Live Demonstration 2019 宗政 充 ザ・セレクトプレミア神戸三田ホテル	2019 年 5 月 31 日
10) CTEPH マネージメント:薬物療法と多角的アプローチ 松原 広己、下川原 裕人 INsPiRE Asia	2019 年 6 月 1 日
11) Cancer Associated Thrombosis 宗政 充 フクラシア丸の内オアゾ	2019 年 6 月 2 日
12) IN.PACT Admiral 技術指導プログラム 内藤 貴教 小倉記念病院	2019 年 6 月 4 日
13) 第 114 回日本循環器学会中国・四国地方会 宗政 充 レグザムホール	2019 年 6 月 8 日
14) 静脈血栓症治療を考える会 宗政 充 ホテルセントイン倉敷	2019 年 6 月 12 日
15) BPA Workshop in OKAYAMA 2019 松原 広己、下川原 裕人、内藤 貴教 ホテルグランヴィア岡山	2019 年 6 月 17 日
16) 肺高血圧診断スキルアップセミナー	

松原 広己	
アクトシティ浜松コンgresセンター	2019 年 6 月 21 日
17) 第 20 回肺高血圧治療談話会	
松原 広己	
アクトシティ浜松コンgresセンター	2019 年 6 月 21 日
18) 第 4 回肺高血圧肺循環学会学術集会ランチョンセミナー	
松原 広己	
アクトシティ浜松コンgresセンター	2019 年 6 月 22 日
19) OKAYAMA New Generation Seminar of PCI	
宗政 充	
アークホテル岡山	2019 年 6 月 22 日
20) 20190628 御津医師会学術講演会	
重歳 正尚	
リーセントカルチャーホテル	2019 年 6 月 28 日
21) 福井 PAH セミナー2019	
下川原 裕人	
福井フェニックスホテル	2019 年 6 月 28 日
22) 静脈血栓症治療を考える会	
宗政 充	
金田病院	2019 年 6 月 28 日
23) 第 14 回中四国肺高血圧症カンファレンス	
松原 広己	
サンピーチ OKAYAMA	2019 年 7 月 6 日
24) サイエнтиフィックワークショップ・ミーティング	
松原 広己	
ザ・プリンスさくら	2019 年 7 月 7 日
25) 静脈血栓塞栓症セミナー	
宗政 充	
桜が丘いきいき交流センター	2019 年 7 月 12 日
26) CV Premium Conference in 岡山	
宗政 充	
TKP 岡山ガーデンシティー	2019 年 7 月 19 日
27) 第三回城南 PH 研究会	
松原 広己	
京王プラザホテル	2019 年 7 月 19 日
28) BPA 講演会	
下川原 裕人	
奈良県西和医療センター	2019 年 7 月 19 日
29) 1st Japan PAH Frontier Summit	
松原 広己	

グランドプリンスホテル新高輪	2019 年 7 月 20 日/21 日
30) アデムパス PH フォーラム	
松原 広己	
シェラトン都ホテル東京	2019 年 7 月 27 日
31) Physiology	
宗政 充	
リットシティビル	2019 年 7 月 31 日
32) 沖縄県肺高血圧症カンファレンス	
松原 広己	
沖縄県医師会館	2019 年 8 月 2 日
33) Global Medical Strategy Board 2019	
松原 広己	
Hotel Omni Mont-Royal (1050 Sherbrooke St.W.,Montreal,Quebec H3A 2R6 Canada)	
	2019 年 8 月 22 日
34) PH Treatment Lecture	
松原 広己	
TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町(東京都港区芝浦 3-1-21)	2019 年 8 月 28 日
35) OFDI 読影会	
辻 真弘	
リーセントカルチャーホテル	2019 年 8 月 29 日
36) PCI 講演会@高知	
宗政 充	
細木病院	2019 年 9 月 4 日
37) 学術講演会 水利尿薬について再考する	
宗政 充	
岡山医療センター	2019 年 9 月 4 日
38) 日本超音波医学会第 55 回中国地方会学術集会	
宗政 充	
YIC スタジオ	2019 年 9 月 7 日
39) Adempas Experts Meeting in Okayama	
松原 広己	
ホテルグランヴィア岡山	2019 年 9 月 17 日
40) 第 5 回 Young Cardiologist Relation Seminar	
下川原 裕人	
ホテルロイヤルヒル福知山	2019 年 9 月 18 日
41) 岡山北部医療連携フォーラム	
宗政 充	
ホテルグランヴィア岡山	2019 年 10 月 15 日
42) 抗血栓療法 WEB セミナー	
宗政 充	

津山鶴山ホテル	2019 年 10 月 18 日
43) HBR Summit in Hiroshima	
田渕 勲	
シェラトングランドホテル広島	2019 年 10 月 18 日
44) 第 5 回 PH Conference with Young Doctors	
下川原 裕人	
広島インテンス会議室	2019 年 10 月 26 日
45) HBR Summit Japan in Kobe	
宗政 充	
神戸ポートピアホテル	2019 年 10 月 26 日
46) アデムパス Web カンファレンス	
松原 広己	
都市センターホテル	2019 年 10 月 28 日
47) IN.PACT Admiral 技術指導プログラム	
宗政 充	
岡山医療センター	2019 年 11 月 1 日
48) 静脈血栓塞栓症セミナー	
宗政 充	
勝央町共同福祉施設	2019 年 11 月 8 日
49) 20191109CTEPH Clinical Conference Tokyo 2019	
松原 広己	
トラストシティーカンファレンス・丸の内	2019 年 11 月 9 日
50) ウブトラビ Web カンファレンス	
下川原 裕人	
ホテルメルパルク岡山	2019 年 11 月 12 日
51) TERUMO ACS Seminar	
重歳 正尚	
岡山プラザホテル	2019 年 11 月 14 日
52) Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement (ARIA2019)	
宗政 充	
電気ビル共創館	2019 年 11 月 21 日
53) 島根肺高血圧症フォーラム	
下川原 裕人	
松江エルサ	2019 年 11 月 23 日
54) BPA 講演会	
松原 広己	
関東中央病院	2019 年 11 月 29 日
55) LA summit in Okayama	
宗政 充	
ホテルグランヴィア岡山	2019 年 12 月 2 日

56) KURE Circulation Conference 宗政 充 呉医療センター	2019 年 12 月 6 日
57) 中国四国エリア WEB セミナー 宗政 充 ブリストル・マイヤーズスクイブ岡山事務所	2019 年 12 月 13 日
58) 若手医師のための循環器セミナー 西原 大裕 アークホテル岡山	2019 年 12 月 14 日
59) 御津医師会学術講演会 松原 広己、内藤 貴教 リーセントカルチャーホテル	2020 年 1 月 10 日
60) 第 14 回 Best Management Debate Conference 世話人会 宗政 充 アークホテル岡山	2020 年 1 月 11 日
61) Fusion EVT Conference 2020 宗政 充 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前	2020 年 1 月 11 日
62) OPC-61815 第Ⅲ相非劣性検証試験研究会 宗政 充 紀尾井カンファレンス	2020 年 1 月 18 日
63) 血栓ふれあいセミナー 宗政 充 南ふれあいセンター	2020 年 1 月 29 日
64) OFDI 適正使用ライブ及び講演会 宗政 充 CIVI 北梅田研修センター	2020 年 2 月 1 日
65) 静脈血栓塞栓症ハンズオンセミナー 宗政 充 今治地域地場産業振興センター	2020 年 2 月 14 日
66) BPA 講演会 松原 広己 関東中央病院	2020 年 2 月 21 日
67) PH Treatment Lecture in Tsukuba 松原 広己 オークラフロンティアホテルつくば	2020 年 2 月 21 日
68) 第 15 回中四国 PH カンファレンス 松原 広己 サンピーチ OKAYAMA	2020 年 2 月 22 日
69) CTEPH アドバイザリーミーティング	

下川原 裕人	
オリエンタルホテル福岡	2020 年 2 月 22 日
70) 第 18 回知って得する循環器学世話人会	
宗政 充	
アークホテル岡山	2020 年 2 月 25 日
71) 御津医師会学術講演会	
宗政 充	
リーセントカルチャーホテル	2020 年 2 月 28 日
72) KAWA WEB カンファレンス	
宗政 充	
興和株式会社香川・徳島営業所会議室	2020 年 3 月 3 日
73) 肺高血圧症における NO-sGC-cGMP 経路について考える会	
松原 広己	
久留米大学	2020 年 3 月 5 日
74) 生活習慣病ジョイントセッション	
宗政 充	
ホテルメルパルク岡山	2020 年 3 月 6 日
75) 赤磐若手医師の会講演会	
宗政 充	
桜が丘いきいき交流センター	2020 年 3 月 23 日

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入（血液透析、腹膜透析）などです。また各種疾患（糖尿病、膠原病など）における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。また腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

それ以外に、関節リウマチ・膠原病の治療を入院・外来にて行っています。DMARDs、ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤を使用します。なおリウマチ膠原病診療は令和2年度からはリウマチ科として診療予定です。

診療担当は常勤医師2名、レジデント1名（卒後5年目）、ローテートの専攻医と初期研修医です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 250 名

	疾患	患者数
1	慢性腎臓病（非透析、糖尿病以外）	44
2	慢性腎臓病（血液透析、糖尿病以外）	39
3	慢性糸球体腎炎	23
4	糖尿病性腎臓病（血液透析）	22
5	リウマチ膠原病	20
6	ネフローゼ症候群	15
7	糖尿病性腎臓病（非透析）	13
8	急性腎障害	8
9	慢性腎臓病（腹膜透析、糖尿病以外）	5
9	糖尿病性腎臓病（腹膜透析）	5

死亡退院 9 例：急性呼吸不全、うっ血性心不全、多臓器不全、後腹膜膿瘍、消化管出血、敗血症性ショック、その他

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行（当科施行件数）65 例（延べ数）

IgA 腎症 14 例、ループス腎炎 8 例、ANCA 関連血管炎 7 例、膜性腎症 6 例、微小変化型ネフローゼ症候群 5 例、糖尿病性腎症 4 例、腎硬化症 3 例、急性糸球体腎炎 2 例、尿細管間質性腎炎 2 例、シェーグレン症候群 1 例、その他の半月体形成性糸球体腎炎 1 例、マクログロブリン血症に伴う腎障害 1 例、溶血性尿毒症症候群 1 例、血栓性微小血管症 1 例、急性尿細管壊死 1 例、腎アミロイドーシス 1 例、菲薄基底膜病 1 例、その他

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織（腎臓内科・腎移植外科など）の評価を臨床検査科・当該科と共に行っている。

2) 治療（入院治療患者数：新規開始ないし再開、患者ベースの例数）

- a) 慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、リウマチ膠原病
副腎皮質ステロイド 36 例、IgA 腎症扁桃腺摘出後ステロイドパルス 2 例、生物学的製剤 5 例（ネフローゼ症候群 2 例、リウマチ膠原病 3 例）
 - b) 慢性腎臓病（CKD）患者診療
外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4～G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っている。
 - c) 血液透析
7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。
1 クール定員 5 名で運用
令和元年度入院血液透析患者数 327 例（2019/4/1 時点の入院を含む）、のべ透析回数 2480 回（7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く）。
（詳細は透析センターの頁をご参照ください）
 - d) 腹膜透析：外来患者 20 名。（そのうち PD/HD 併用は 6 名）
外来患者は専門外来にて管理しています。
導入 4 名、離脱 3 名（全例当院通院患者）
腹膜透析患者入院 19 名（導入、内科・外科治療など）
 - e) リウマチ膠原病
全身性エリテマトーデス 7 名、血管炎症候群 7 名、成人スチル病 1 名、多発性筋炎 1 名、シェーグレン症候群 1 名
- 3) 教育
- a) 岡山大学臨床教授として、岡山大学医学部医学科の学生を受入れ指導。
令和元年度同校 5～6 年生 1 名受け入れ。（1 週間、糖尿病内科と）
 - b) 専攻医、初期研修医などの指導
 - c) 看護助産学校講師、病院実習中の看護学生サポート
- 4) 研究・治験
- a) 治験（1 件）
SGLT-2 阻害薬による慢性腎臓病治療
 - b) 市販後調査全例報告
 - c) 当科にて
稀な症例の報告、少数例の後ろ向き検討など

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) 門脈血栓症と肝梗塞を発症した糖尿病性腎症腹膜透析患者の一例

中土井崇人、山崎浩子、寺見直人、太田康介、酒井悠祐、加藤秀太郎、向井敬、山田晴士、梶谷展生

2019 年 11 月

2. 学会、研究会

- 1) 「発症約 30 年後に急速進行性糸球体腎炎を呈した 30 歳代女性のネフローゼ症候群の 1 例」
渡邊慶太
第 76 回 岡山腎疾患懇話会 2020 年 4 月 6 日
- 2) ASO 高値と関節炎にて発症し成人スチル病と考えられた一例
太田康介
第 63 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 2019 年 4 月 17 日
- 3) 不明熱と胸腹水を呈し TAFRO 症候群と考えられた一例
太田康介
第 63 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 2019 年 4 月 17 日
- 4) 特発性肺動脈性肺高血圧症として治療を開始後 14 年の経過を経て全身性エリテマトーデスの診断に至った 1 例
中納弘幸
第 116 回 日本内科学会総会・講演会 2019 年 4 月 27 日
- 5) 選択的血漿交換療法を施行した ANCA 関連血管炎の 1 例
鳥越大史
第 120 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 6 月 1 日
- 6) 敗血症性の急性腎障害に対し血液透析を施行し離脱し得た生体腎移植患者の 1 例
寺見直人
第 104 回 岡山透析懇話会 2019 年 6 月 15 日
- 7) Carfilzomib を投与した多発性骨髄腫患者における腎障害の検討
中土井崇人
第 62 回 日本腎臓学会学術総会 2019 年 6 月 22 日
- 8) 入院血液透析患者における死亡原因の検討
太田康介
第 64 回 日本透析医学会学術集会・総会 2019 年 6 月 30 日
- 9) 超音波血流計を用いた血液透析回路内実血流量の測定
大野開成
第 64 回 日本透析医学会学術集会・総会 2019 年 6 月 29 日
- 10) 透析導入期に 2 型呼吸不全を呈し非侵襲的陽圧換気法を導入した慢性腎臓病の 1 例
白石裕雅
第 121 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 10 月 5 日
- 11) 炭酸リチウム治療中に発症した急性腎臓障害に続発し多尿が遷延した腎性尿崩症の 1 例
川崎綾子
第 121 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 10 月 5 日
- 12) 腎臓浸潤と糸球体に免疫複合体の沈着を認めた悪性リンパ腫の 1 例
中土井崇人
第 49 回 日本腎臓学会西部学術大会 2019 年 10 月 18 日
- 13) ANCA-associated vasculitis with the initial symptom of multiple cerebral infarctions
高林明日香

- 第 73 回 国立病院総合医学会 2019 年 11 月 8 日
- 14) 当院における新しい内科専門医制度の現状と課題
太田康介
第 32 回 岡山市医師会医学会 2019 年 11 月 16 日
- 15) 腹膜透析カテーテル出口部に *Prevotella bivia* による皮下膿瘍を形成した一例
中土井崇人
第 25 回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 2019 年 11 月 23 日
- 16) 当院腹膜透析患者における結核発生状況および潜在性結核への対応
太田康介
第 25 回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 2019 年 11 月 23 日
- 17) 貧血と炎症反応が継続し *Helicobacter cinaedi* 感染の関与が疑われた SLE の一例
太田康介
第 30 回 日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会 2019 年 12 月 7 日
- 18) 急速な経過で肺出血を発症し血管炎が確認されたシェーグレン症候群の一例
中土井崇人
第 30 回 日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会 2019 年 12 月 7 日
- 19) 腹膜透析、血液透析併用療法中に腹膜炎を発症しセフトラジウム脳症を合併したと考えられた一例
中土井崇人
第 28 回 中国腎不全研究会学術集会 2019 年 12 月 8 日
- 20) 多発性嚢胞腎に合併した肝嚢胞感染に対してセフメタゾールで良好な経過を得た一例
小柳太作
第 28 回 中国腎不全研究会学術集会 2019 年 12 月 8 日
- 21) 腎移植後長期経過中に低 Na 血症を呈した三例
太田康介
第 53 回 日本臨床腎移植学会 2020 年 2 月 20 日

3 講演

- 1) 発症約 30 年後に急速進行性糸球体腎炎を呈した 30 歳代女性のネフローゼ症候群の一例
太田 康介、渡邊 慶太
第 76 回岡山腎疾患懇話会 2019 年 4 月 6 日
- 2) 岡山医療センターの取り組み
太田 康介
小倉 PD セミナー 2019 2019 年 4 月 24 日
- 3) 学術講演会 水利尿薬について再考する
太田 康介
岡山医療センター 2019 年 9 月 4 日
- 4) 慢性便秘 Seminar
太田 康介
ホテルグランヴィア岡山 2019 年 9 月 18 日

- 5) 函館 PD セミナー
太田 康介
函館五稜郭病院
2019 年 9 月 20 日
- 6) 岡山・赤磐エリア(若手医師の勉強会)
太田 康介
赤磐市桜ヶ丘いきいき交流センター
2019 年 11 月 29 日

● 診療科の特色

1. 脳・脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に診断・治療をしています。脳神経外科と共同で脳卒中センターを運営し、9A病棟に SCU4床を作り、rt-PA 治療を含めた脳卒中急性期治療に役立てています。さらにパーキンソン病、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症といった神経難病の診療治療(免疫グロブリン大量療法、免疫吸着療法含む)、脳炎・髄膜炎の感染症、てんかんやギラン・バレー症候群やCIDPの治療、眼瞼痙攣、顔面痙攣、痙性斜頸、痙縮に対するボトックス治療、PSG 検査を導入しCPAPによる睡眠時無呼吸症候群の治療、痙性対麻痺に対するバクロフェン髄注療法、Reveal LINQ を使った心房細動検出等を行っています。

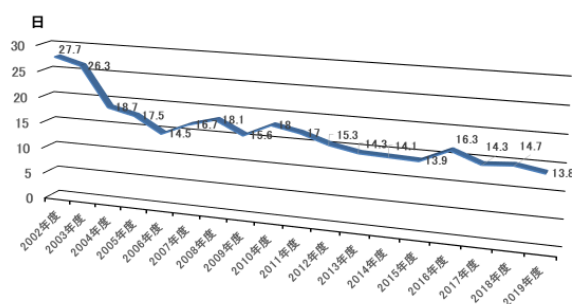
● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 651 人

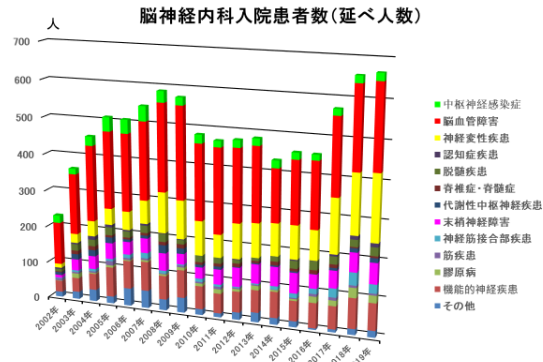
	疾患	患者数
1	脳卒中(脳出血、TIA を含む)	220
2	パーキンソン病/パーキンソン症候群	59
3	筋萎縮性側索硬化症	50
4	重症筋無力症	33
5	睡眠時無呼吸症候群	28
6	てんかん/症候性てんかん	21
7	髄膜炎/脳炎	19
8	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)/MMN	16
9	多発性硬化症/視神経脊髄炎	9
10	ギラン・バレー症候群	5

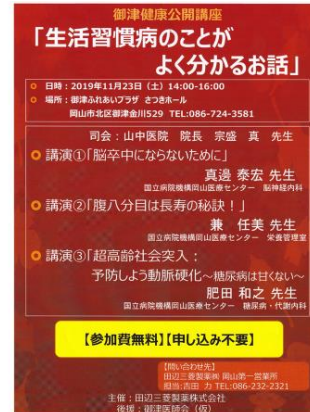
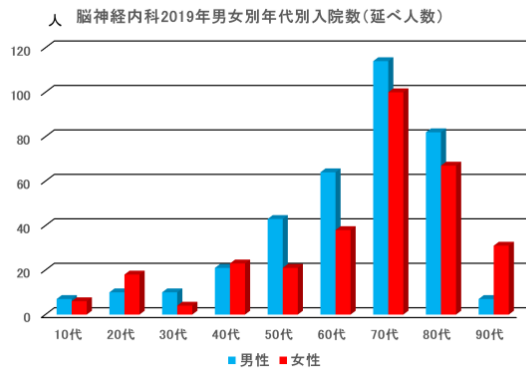
2. その他

脳神経内科平均在院日数



脳神経内科入院患者数(延べ人数)





● 研究業績

1. 論文発表

1) Kuribayashi T, Manabe Y, Fujiwara S, Omote Y, Narai H, Abe K

Combined hypertrophic pachymeningitis and cerebral venous thrombosis in a case of granulomatosis with polyangiitis

Case Rep Neurol 2019; 11: 252-255.

2) Ikeda K, Manabe Y, Fujiwara S, Omote Y, Narai H, Abe K

Campylobacter fetus meningitis and pyogenic spondylodiscitis in a healthy young woman

Case Rep Neurol 2019; 11: 299-303.+

3) Fujiwara S, Manabe Y, Morihara R, Yunoki T, Kono S, Narai H, Abe K

Two cases of very-late-onset neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD) in patients over the age of 80

Case Rep Neurol 2020; 12: 13-17.

4) Tanaka T, Yamagami H, Ihara M, Miyata T, Miyata S, Hamasaki T, Amano S, Fukuma K, Yamamoto H, Nakagawara J, Furui E, Uchiyama S, Hyun B, Yamamoto Y, Manabe Y, Ito Y, Fukunaga R, Abumiya T, Yasaka M, Kitagawa K, Toyoda K, Nagatsuka K

Association of CYP2C19 polymorphisms with clopidogrel reactivity and clinical outcomes in chronic ischemic stroke

Circ J 2019; 83: 1385-1393.

5) Tadokoro K, Morihara R, Ohta Y, Hishikawa N, Kawano S, Sasaki R, Matsumoto N, Nomura E, Nakano Y, Takahashi Y, Takemoto M, Yamashita T, Ueno S, Wakutani Y, Takao Y, Morimoto N, Kutoku Y, Sunada Y, Taomoto K, Manabe Y, Deguchi K, Higashi Y, Inufusa H, You F, Yoshikawa T, von Greiffenclau MM, Abe K

Clinical benefits of antioxidative supplement Twendee X for mild cognitive impairment: a multicenter, randomized, double-blind, and placebo-controlled prospective interventional study.

J Alzheimers Dis 2019; 7: 1063-1069.

6) Aoki J, Iguchi Y, Urabe T, Yamaguchi H, Toda K, Fujimoto S, Idomari K, Kaneko N, Iwanaga T, Terasaki T, Tanaka R, Yamamoto N, Tsujino A, Nomura K, Abe K, Uno M, Okada Y, Matsuoka H, Yamagata S, Yamamoto Y, Yonehara T, Inoue T, Yagita Y, Kimura K, on behalf of the ADS investigators

Acute aspirin plus cilostazol dual therapy for non-cardioembolic stroke patients within 48 h of symptom onset
J Am Heart Assoc 2019; 8: e012652.

7) Kitagawa K, Yamamoto Y, Arima H, Maeda T, Sunami N, Kanzawa T, Eguchi K, Kamiyama K, Minematsu K, Ueda S, Rakugi H, Ohya Y, Kohro T, Yonemoto K, Okada Y, Higaki J, Tanahashi N, Kimura G, Umemura S, Matsumoto M, Shimamoto K, Ito S, Saruta T, Shimada K, for the Recurrent Stroke Prevention Clinical Outcome (RESPECT) Study Group

Effect of standard vs intensive blood pressure control on the risk of recurrent stroke: a randomized clinical trial and meta-analysis

JAMA Neurol 2019; 76: 1309–1318.

8) Ouchi Y, Sasaki J, Arai H, Yokote K, Harada K, Katayama Y, Urabe T, Uchida Y, Hayashi M, Yokota N, Nishida H, Otonari T, Arai T, Sakuma I, Sakabe K, Yamamoto M, Kobayashi T, Oikawa S, Yamashita S, Rakugi H, Imai T, Tanaka S, Ohashi Y, Kuwabara M, Ito H.

Ezetimibe Lipid-Lowering Trial on Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Disease in 75 or Older (EWTOPIA 75) A Randomized, Controlled Trial

Circulation 2019; 140: 992–1003.

9) 表芳夫

ミトコンドリア病(MELAS)の1例ーてんかん重積状態をきたした症例ー

Epilepsy 2019; 13: 27–30

2. 学会、研究会

国際学会

2019.6.4–7

5th World Parkinson Congress (Kyoto, Japan)

Manabe Y, Takahashi Y, Fujiwara S, Omote Y, Furujiyo M, Narai H

Parkinsonism in association with dihydropteridine reductase deficiency

2019.6.22–26

33rd International Epilepsy Congress (Bangkok, Thailand)

Fukuma K, Tanaka T, Nishimura K, Motoyama R, Matsubara S, Mizobuchi M, Yoshimura H, Matsuki T, Manabe Y,

Suzuki J, Ikeda A, Koga M, Toyoda K, Ihara M, PROPOSE Study Investigators

PROgnosis of Post Stroke Epilepsy (PROPOSE) study-baseline data

2019.7.4–7

Brain & Brain PET 2019 (Yokohama, Japan)

Manabe Y, Fujiwara S, Omote Y, Narai H

Clinical evaluation of intravenous rt-PA therapy for acute ischemic stroke in patients beyond the age of 90

2019.10.2-5

Asia Pacific Stroke Conference 2019 (Manila, Philippines)

Fujiwara S, Nakano Y, Narai H, Manabe Y

Central nervous system involvement in eosinophil granulomatosis with polyangiitis

2019.10.27-31

World Congress of Neurology 2019 (Dubai, UAE)

Nakano Y, Manabe Y, Yamashita T, Ohta Y, Abe K

A temporal change of in vivo oxidative stress imaging in a mouse stroke model

国内学会

2019.5.22-25 第 60 回日本神経学会学術大会 (大阪)

1) 藤原舜也、表芳夫、奈良井恒、真邊泰宏

当院で経験した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の臨床的特徴

2) 表芳夫、藤原舜也、奈良井恒、真邊泰宏

潜因性脳梗塞に対して植込み型心電図記録計を用いた 4 例の臨床的検討

3) 奈良井恒、藤原舜也、表芳夫、真邊泰宏

全身型重症筋無力症に対するエクリズマブの投与経験

4) 真邊泰宏、藤原舜也、表芳夫、奈良井恒

90 歳以上の急性期脳梗塞患者に対する rt-PA 療法の予後に与える影響についての検討

2019.10.19-20 第 13 回日本薬局学会学術総会

5) 田所功、森原隆太、菱川望、山下徹、真邊泰宏、涌谷陽介、高尾芳樹、森本展年、久徳弓子、埜本勝司、犬房春彦、楊馥華、吉川敏一、Markus Count Matuschka de Greiffenclau、阿部康二

抗酸化サプリメント Twendee X の認知症発症予防効果: 多施設共同前向き無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験

2019.10.26-27 第 17 回日本臨床栄養学会総会大連合大会

6) 田所功、森原隆太、菱川望、山下徹、真邊泰宏、涌谷陽介、高尾芳樹、森本展年、久徳弓子、埜本勝司、犬房春彦、楊馥華、吉川敏一、Markus Count Matuschka de Greiffenclau、阿部康二

抗酸化サプリメント Twendee X の認知症発症予防効果: 多施設共同前向き無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験

2019.11.9-10 第 73 回国立病院総合医学会(名古屋)

7) Fujiwara S, Nakano Y, Narai H, Manabe Y

Central nervous system involvement in eosinophil granulomatosis with polyangiitis (EGPA)

8) 真邊泰宏、藤原舜也、表芳夫、奈良井恒

超高齢の急性期脳梗塞患者に対する rt-PA 静注療法が予後に与える影響についての検討

2020.1.24-25 第 45 回日本脳神経 CI 学会総会(岡山)

9) 中野由美子、藤原舜也、奈良井恒、真邊泰宏

舞踏運動で発症した脳アミロイドアンギオパチーが疑われた 1 例

10) 奈良井恒、藤原舜也、中野由美子、真邊泰宏

裂脳症 3 症例の検討

11) 奈良井恒、藤原舜也、中野由美子、真邊泰宏

アレキサンダー病(R416W)の 1 家系 3 症例における画像的特徴の検討

12) 真邊泰宏、藤原舜也、中野由美子、奈良井恒

脊髄長大病変を呈した神経ベーチェット病の 2 例

13) 表芳夫、奈良井恒、藤原舜也、真邊泰宏、阿部康二

Cerebral microbleeds を伴うラクナ梗塞の検討

14) 表芳夫、奈良井恒、藤原舜也、真邊泰宏、阿部康二

MRLAS の脳卒中様発作に対する治療経過において arterial spin labeling (ASL) が有用であった 1 例

地方会

2019.6.1 第 120 回日本内科学会中国地方会(岡山)

15) 石井貴大、藤原舜也、表芳夫、奈良井恒、真邊泰宏、幡中典子、阿部康二

嚔声を主訴とした重症筋無力症の 1 例

2019.10.5 第 121 回日本内科学会中国地方会(岡山)

16) 藤原舜也、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏

発症から 38 年経過してヌシネルセン投与を開始した脊髄性筋萎縮症(SMA) type2 の 1 例

2019.12.7 第 107 回日本神経学会中国・四国地方会(岡山)

17) 藤原舜也、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏

視覚処理障害による純粋失読症を呈した側頭後頭葉脳塞栓症の 1 例

18) 中野由美子、藤原舜也、奈良井恒、真邊泰宏

多発脳梗塞で発症した ANCA 関連血管炎の 1 例

19) 奈良井恒、藤原舜也、中野由美子、真邊泰宏
全身型重症筋無力症に対するエクリズマブの投与経験

研究会

2019.7.31 第 18 回岡山脳卒中研究会(岡山)

20) 藤原舜也、表芳夫、中野由美子、奈良井恒、真邊泰宏
当院で経験した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)による中枢神経障害

2019.8.30 第 19 回パーキンソン病関連疾患検討会(岡山)

21) 真邊泰宏
パーキンソン症状を呈したジヒドロプテリジン還元酵素(DHPR)欠損症の 1 例

2019.9.7 第 21 回中国四国脳卒中研究会(広島)

22) 中野由美子、藤原舜也、中土井崇人、奈良井恒、太田康介、真邊泰宏
壊死性糸球体腎炎が急速に進行し、多発脳梗塞を合併した ANCA 関連血管炎の 1 例

講演

1) 2019.5.14 脳梗塞循環器疾患ジョイントセッション(岡山)

真邊泰宏
心原性脳塞栓症と抗凝固薬について

2) 2019.6.3 北ブロックファーマシスト Neurology Seminar(岡山)

奈良井恒
パーキンソン病の治療に使う薬について

3) 真邊泰宏
よくわかる抗認知症薬について

4) 2019.6.13 岡山大学 4 年次学生講義(岡山)

真邊泰宏
多発性硬化症および脊髄疾患

5) 2019.8.24 研修施設群合同カンファレンス(岡山)

真邊泰宏
よくわかる神経疾患

6) 2019.11.23 第 430 回岡山市医師会内科医会(岡山)

奈良井恒

認知症診療の現状

7) 2019.11.23 御津健康公開講座(御津)

真邊泰宏

脳卒中にならないために

● 診療科の特色

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は 50 床を有し、新生児病棟の 50 床と併せて 100 床の小児病棟を擁し、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内で唯一、国立成育医療センターを top とする小児総合医療施設協議会に加盟を許されています。

小児科では高度専門医療と救急医療を2本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべき体制を 24 時間整えています。年間新入院患者数は一般小児科だけで約 2,400 名であり、救急センターの年間受診者数は時間外選定療養費を徴収しているにも拘らず約 7,400 名で、救急での入院率は 20～30%と非常に高率です。専門領域は多岐にわたります。内分泌領域では、成長ホルモン治療患者数は中四国 1 を誇っています。また、岡山市内で唯一小児の透析治療を担っています。その他、感染性疾患はもちろんのこと、アレルギー疾患、神経疾患、新生児マススクリーニング対象疾患を含む先天代謝異常症や糖尿病等を重点的にカバーしています。心臓疾患に関しては岡山大学から毎週、また小児整形に関しても旭川荘療育医療センターから毎月専門医が派遣されています。従って、臨床研修において、専門性の高い疾患から急性疾患に至るまで、その数、内容共に十分な症例を供給できます。また、教育にも力を入れており、月・水・金に入退院カンファがあり、木曜日には小児外科・新生児科と合同のカンファがあり、ここでは症例発表及びスタッフによる short lecture があります。更に抄読会・輪読会やフィルムカンファなども若手中心に行われています。週 1 回早朝に多職種による救急トレーニングも開催しています。岡山大学や他大学からの医学生実習も受け入れています。一方、定期的にセミオープンで全国規模の救急研修会や成育研修会を開催しており、また当科主催で、県内若手勤務医のための勉強会も年 2 回開催しています。もう一つ当院の特徴的なものとして臨床研究部の存在があります。当科は成育医療推進研究室に属しており、臨床研究を行うことができると共に、研究予算が得られます。

このように、臨床研修だけでなく、臨床研究に至るまで幅広い研修を受けることが可能です。国立病院機構ネットワークを通じて内地留学や、国外留学制度も取り入れています。

後期研修においては年間約 400 名の新入院症例を有する新生児科と約 800 の手術件数を誇る小児外科における研修も含まれます。

● 入院診療実績

1. 2019 年度 小児科疾患別一覧	ICD-10	患者数	死亡患者数
感染症および寄生虫症	A00-B99	208	0
新生物	C00-D48	3	1
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	28	0
内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90	109	0
精神および行動の障害	F00-F99	15	0
神経系の疾患	G00-G99	116	0
眼および付属器の疾患	H00-H59	3	0
耳および乳様突起の疾患	H60-H95	8	0
循環器系の疾患	I00-I99	4	0

呼吸器系の疾患	J00-J99	711	1
消化器系の疾患	K00-K93	47	0
皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	29	0
筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	59	0
腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	64	0
周産期に発生した病態	P00-P96	2	0
先天性奇形, 変形および染色体異常	Q00-Q99	19	0
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	107	0
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	123	0
	総計	1655	1

2. 特殊検査法	症例数	合併症の有無とその内容	死亡退院数
1 心エコー	1286	なし	0
2 腎生検	6	なし	0
3 下垂体機能検査	67	なし	0
4 脳波	853	なし	0
5 経口負荷試験(食物アレルギー)	入院 70	なし	0
6 経口負荷試験(食物アレルギー)	外来 150	なし	0

3. 特殊治療法	症例数	処置合併症とその内容	長期予後
酵素補充療法	13	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅腹膜透析	3	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅酸素療法	36	肺 炎	QOL の向上、延命効果
栄養指導療法(外来)	60	特記事項無し	経口摂取制限解除
アレルギー児への 予防接種	30	特記事項無し	
在宅人工呼吸器	25	特記事項無し	QOL の向上、延命効果

4. 教育・研修	開催頻度		開催頻度
入退院カンファランス	3 回/週	合同カンファランス	1 回/週
部長・医長回診	2 回/週	輪読会	1 回/週
抄読会	1 回/週	レントゲンカンファレンス	1 回/2 週
PALS に準じた多職種シミュレーション	1 回/週	レジデント症例検討会	1 回/2 週

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Kaori Fujiwara , Junya Shimizu , Hirokazu Tsukahara , Akira Shimada ; Lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome and immunoglobulin-A vasculitis: a report of Japanese sibling cases and review of the literature 39;1811-1819
- 2) 白神浩史、中村信、久保俊英;精神症状の先行した急性散在性脳脊髄炎の 1 例、60 巻 10 号 P.1429-1432(2019.09)
- 3) 白神浩史、山脇由希子、小倉和郎、久保俊英;無菌性髄膜炎後に発症した急性散在性脳脊髄炎の 2 例、51 巻 11 号 P.1838-1842(2019.11)
- 4) 原 成未、清水 順也、服部 真理子、浦山 建治、久保 俊英;リツキシマブ投与後の初回再発時に急性腎不全を伴ったネフローゼ症候群の 1 例、日本小児腎不全学会雑誌 39 巻 P.231-233(2019.07)
- 5) 越智 元春、清水 順也、篠山 美香、片山 修一、茂原 研司、服部 真理子、駒澤 徹、久保 俊英;壊死性筋膜炎を契機に診断した乳幼児自己免疫性好中球減少症、日本小児科学会雑誌 123 巻 8 号 P.1272-1277(2019.08)
- 6) 塩入 幹汰、土屋 弘樹、原 成未、金谷 誠久、清水 順也、人見 浩介、中原 康雄、久保 俊英;白血球尿を呈さず、画像所見により診断が得られた急性巣状細菌性腎炎、腎膿瘍の一例、岡山医療センター年報 15 巻 P.336-337(2019.09)
- 7) 酒井 悠佑、久保 俊英、清水 順也、井上 拓志、浦山 建治、西村 佑真、赤木 祐介、茂原 暁子;小児期に 3 度の再発を来した顔面神経麻痺の一例、岡山医療センター年報 15 巻 P.322-323(2019.09)
- 8) 福元 花奈、井上 拓志、金谷 誠久、久保 俊英;Arterial Spin Labeling で頭痛発作急性期の脳血流変化を観察し得た小児片頭痛の一例、岡山医療センター年報 15 巻 P.328-329(2019.09)

2. 学会、研究会

- 1) 教育セミナー11 ムコ多糖症Ⅵ型の日本人兄妹症例に対する酵素補充療法の経験～早期治療の重要性～
古城真秀子
第 122 回日本小児科学会学術集会、2019/4/19
- 2) 喘鳴、肝脾腫、ミオクローヌスを呈しゴーシェ病Ⅱ型と診断された 1 例
古城真秀子
第 2 回神経型ゴーシェ病セミナー、2019/6/29
- 3) 神経症状のコントロールに難渋しているゴーシェ病Ⅱ型の 1 例
古城真秀子
Gaucher Meet the Expert in Fukuoka、2019/8/3
- 4) ムコ多糖症Ⅵ型小児患者に対するポリ硫酸ペントサン投与の検討
古城真秀子
第 23 回日本ムコ多糖症研究会、2019/8/17

- 5) 腎生検で発見された M296I 変異によるファブリー病の母子例
古城真秀子
岡山ライソゾーム病ミーティング、2019/10/11
- 6) 腎生検で発見された M296I 変異によるファブリー病の母子例
古城真秀子
第 13 回ファブリー病シンポジウム、2019/3/2
- 7) ライソゾーム病の診断 up-to-date ライソゾーム病・早期診断の重要性～きたいされる新生児マススクリーニング～
古城真秀子
第 17 回アジア先天代謝異常症シンポジウム、2019/10/24
- 8) 先天代謝異常症字の医療的ケア
古城真秀子
第 61 回日本先天代謝異常学会総会、2019/10/26
- 9) こどもの健やかな成長と新しい新生児マススクリーニング
古城真秀子
母子保健指導者研修会、2019/11/26
- 10) 病院からの在宅移行支援
古城真秀子
岡山市医療的ケア児研修会、2019/12/1
- 11) 先天代謝異常症女性患者の妊娠に対して周産期管理を行った 2 症例
古城真秀子
岡山先天代謝異常症セミナー、2019/12/21
- 12) 発汗低下が診断の契機となったファブリー病の 2 家系
古城真秀子
出雲ファブリー病シンポジウム、2020/2/21
- 13) 一部に膜性変化を認めたが、治療が奏功した紫班病性腎炎の 1 例
江淵有紀、清水順也、神農陽子
第 76 回岡山腎疾患懇話会、2019/4/6
- 14) 腎生検を施行した蛋白尿の 1 例
清水順也

第 23 回岡山小児腎臓病学会、2019/5/8

- 15) 岡山県南東部における溶連菌感染後急性糸球体腎炎の検討
清水順也、久保俊英、他
第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会、2019/6/6-8
- 16) 高張性脱水を伴う急性腎前性腎不全に引き続き、横紋筋融解症、DIC を合併した一例
岸美智子、清水順也、難波貴弘、浦田奈生子、井上拓志、久保俊英
第 77 回岡山腎疾患懇話会、2019/10/12
- 17) 無治療で自然軽快したネフローゼ症候群の一例
越智元春、清水順也、石田将大、藤永祥子、久保俊英
第 36 回中国四国小児腎臓病学会、2019/10/20
- 18) 侵襲性肺炎球菌感染症により電撃性紫斑病を呈した一例
越智元春、土屋弘樹、井上拓志、清水順也、久保俊英
第 71 回 中国四国小児科学会、2019/11/9-10
- 19) 高張性脱水を伴う急性腎前性腎不全に引き続き、横紋筋融解症、DIC を合併した一例
岸美智子、清水順也、難波貴弘、浦田奈生子、井上拓志、久保俊英
第 41 回日本小児腎不全学会学術集会、2019/11/28-29
- 20) 腹壁のれん縮を主徴とした原発性脊髄性ミオクロヌスの女児
浦田奈生子
第 30 回日本小児神経学会中国四国地方会、2019/7/20
- 21) レベチラセタムが著効を示した頭部外傷後 West 症候群の 1 例
井上拓志
第 98 回岡山小児てんかん懇話会、2019/9/5
- 22) ビデオ記録により発作症状を詳細に観察しえた shuddering attacks の 2 症例
井上拓志
第 92 回日本小児科学会岡山地方会、2019/12/1
- 23) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討
樋口洋介
第 92 回日本内分泌学会学術総会、2019/5/10
GH1 異常症の一例
樋口洋介
第 20 回日本内分泌学会中国支部学術集会、2019/9/7

- 24) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討
樋口洋介
第 53 回日本小児内分泌学会学術集会、2019/9/27

- 25) Japanese pediatric bone age assessment system using convolutional neural networks.
樋口洋介
第 53 回日本小児内分泌学会学術集会、2019/9/27

- 26) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討
樋口洋介
第 29 回臨床内分泌代謝 Update、2019/11/30

- 27) 一部に膜性変化を認めたが、治療が奏功した紫斑病性腎炎の 1 例
江渕 有紀
岡山腎疾患懇話会、2019/4/6

- 28) 学校での成長曲線の活用による 発育の評価の実臨床への影響
江渕 有紀
岡山小児医療研究会、2020/6/1

- 29) 学校での成長曲線の活用による発育評価の推奨で、どう変わったか？－実臨床への影響－
江渕 有紀
小児内分泌学会、2019/9/26

- 30) 侵襲性肺炎球菌感染症により電撃性紫斑病を呈した一例
越智元春
第 71 回中国四国小児科学会、2019/11/9

- 31) 無治療で自然軽快したネフローゼ症候群の一例
越智元春
第 36 回中国四国小児腎臓病学会、2019/10/20

- 32) 有熱時けいれん患者における頭部画像検査の実状と有用性についての検討
土屋弘樹
第 122 回日本小児科学会学術集会、2019/4/19

- 33) MRI arterial spin labeling 法を用いた有熱時発作後超急性期の脳血流評価
土屋弘樹
第 53 回日本てんかん学会学術集会、2019/10/31

- 34) 肝性脳症の病状病態把握に脳波モニタリングが有用であった 1 症例
土屋弘樹
第 7 回全国てんかんセンター協議会 広島大会、2020/2/8
- 35) Common approach to childhood obesity in Japan
久保俊英
香川県善通寺市(特別講演)、2019/6/14
- 36) 座長
久保俊英
第 33 回日本小児救急医学会、2019/6/22
- 37) SGA 性低身長症～治療上の留意点と発達～
久保俊英
山口県山口市(研究会)教育講演、2019/8/1
- 38) 座長
久保俊英
第92回日本小児科学会岡山地方会、2019/12/1
- 39) オマリズマブが著効し、入院を回避できた重症心身障害児の 1 男児例
藤永祥子
第 56 回日本小児アレルギー学会、2019/11/3

3 講演

- 1) 第76回岡山腎疾患懇話会
江渕 有希
岡山大学病院 臨床講義棟2階 2019 年 4 月 6 日
- 2) ムコ多糖症Ⅳ型の日本人兄妹症例に対する酵素補充療法の経験～早期治療の重要性～
古城 真秀子
第122回日本小児学会学術集会 2019 年 4 月 19 日
- 3) 第 7 回ムコ多糖症フォーラム 2019
古城 真秀子
東京ガーデンテラス紀尾井町 2019 年 6 月 23 日
- 4) 第 2 回神経型ゴーシェ病セミナー
古城 真秀子
トラストシティーカンファレンス・丸の内 2019 年 6 月 29 日
- 5) Henning Andersen Graduate Symposium 2019
樋口 洋介
ウェスティン都ホテル京都 2019 年 6 月 2 日

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 6) 北ブロックファーマシストふれあいセミナー | |
| 井上 拓志 | |
| 北ふれあいセンター | 2019 年 6 月 6 日 |
| 7) Gaucher Meet Expert in Fukuoka | |
| 古城 真秀子 | |
| ホテル日航福岡 | 2019 年 8 月 3 日 |
| 8) 第 98 回岡山小児てんかん懇話会 | |
| 井上 拓志 | |
| 岡山大学病院 | 2019 年 9 月 5 日 |
| 9) 第 45 回日本重症心身症学会ランチョンセミナー | |
| 古城 真秀子 | |
| 岡山コンベンションセンター | 2019 年 9 月 21 日 |
| 10) 岡山ライソゾーム病ミーティング | |
| 古城 真秀子 | |
| ホテルメルパルク岡山 | 2019 年 10 月 11 日 |
| 11) 第 77 回岡山腎疾患懇話会 | |
| 清水 順也、岸 美智子 | |
| 岡山大学病院臨床講義棟 | 2019 年 10 月 12 日 |
| 12) 第 61 回日本先天代謝異常学会総会 | |
| 古城 真秀子 | |
| 秋田キャッスルホテル | 2019 年 10 月 24 日 |
| 13) 岡山先天代謝異常症セミナー | |
| 古城 真秀子 | |
| TKP ガーデンシティ岡山 | 2019 年 12 月 21 日 |
| 14) 第 17 回岡山臨床小児内分泌・代謝研究会 | |
| 樋口 洋介 | |
| 第一セントラルビル | 2020 年 2 月 20 日 |
| 15) 出雲ファブリー病セミナー | |
| 古城 真秀子 | |
| 出雲ロイヤルホテル | 2020 年 2 月 21 日 |

● 診療科の特色

1. 平成 17 年度より産科とともに岡山県の総合周産期母子医療センターに認定され、名実ともに岡山県の周産期・新生児医療の中心的役割を担っており、新生児の総合内科として、関係各科、岡山大学病院との連携により、新生児のすべての疾患に対応している。
2. 認可された新生児集中治療室(neonatal intensive care unit: NICU)病床数は 18 床であり、中国四国地方で最大規模の NICU を運営している。
3. 新生児(日齢 28 未満)のみならず、異常を認めた胎児も診療対象である。
4. NICU での管理にとどまらず、妊娠中に異常に気づかれた母体・胎児や産科病棟の赤ちゃん(正常新生児や在胎 35~36 週の Late preterm 児)の診療・管理も、産褥病棟で行っている。
5. 当院はユニセフ・WHO より“赤ちゃんにやさしい病院、Baby Friendly Hospital(BFH)に認定された先進国第 1 号の病院である。産科病棟の赤ちゃんのみならず、NICU に入院された赤ちゃんについても積極的に母乳育児支援を行っており、出生体重 1000g 未満の超低出生体重児も退院時に 6 割以上が母乳のみ哺育されており、混合栄養を含めると 9 割以上が母乳哺育を継続している。
6. NICU に入院した赤ちゃんの両親は 365 日 24 時間いつでも面会が可能であり、加えて祖父母、全国的にはまだ実践施設が少ないきょうだい面会も積極的に行っている。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間新入院患者数 368 件

疾患・処置(重複あり)	2019 年度
低出生体重児(出生体重 2500g 未満)	169
極低出生体重児(出生体重 1500g 未満)	43
超低出生体重児(出生体重 1000g 未満)	20
早産児(在胎 37 週未満)	126
超早産児(在胎 28 週未満)	13
新生児呼吸窮迫症候群	16
新生児一過性多呼吸症	32
新生児低血糖	47
新生児黄疸	224
重症新生児仮死	17
先天性心疾患	22
未熟児動脈管開存症	10
多胎児	71
染色体異常症	7
人工呼吸管理/経鼻持続陽圧	32/54
動脈ライン/経皮的中心静脈カテーテル	27/60
一酸化窒素吸入療法/低体温療法	6/1

2. その他

2) 特に力を入れて取り組んでいる事項

- a) 超低出生体重児の後障害なき救命率の向上
- b) 新生児蘇生法普及事業(NCPR)
- c) 出生時仮死児の予後向上に向けた低体温療法の実施
- d) 家族にやさしいより良きファミリーケア、胎児期からのファミリーケア(プレネイタルビジット)
- e) NICU での「赤ちゃんにやさしい病院運動(Baby friendly hospital initiative: BFHI)」推進

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Shinohara Masakazu , Niba Emma Tabe Eko , Wijaya Yogik Onky Silvana , Takayama Izumi ,
Mitsuishi Chisako , Kumasaka Sakae , Kondo Yoichi , Takatera Akihiro , Hokuto Isamu , Morioka Ichiro ,
Ogiwara Kazutaka , Tobita Kimimasa , Takeuchi Atsuko , Nishio Hisahide , the SMA-NBS PILOT STUDY
GROUP
A Novel System for Spinal Muscular Atrophy Screening in Newborns: Japanese Pilot Study
<https://www.mdpi.com/2409-515X/5/4/41>
International Journal of Neonatal Screening.2019.5.41
- 2) Takeuchi Akihito, Yorifuji Takashi, Hattori Mariko, Tamai Kei, Nakamura Kazue, Nakamura Makoto,
Kageyama Misao, Kubo Toshihide, Ogino Tatsuya, Kobayashi Katsuhiko, Doi Hiroyuki
Catch-up growth and behavioral development among preterm, small-for-gestational-age children: A
nationwide Japanese population-based study
Brain & Development. 2019.41. 397-405
- 3) 影山 操, 松田 良子.【気付く・寄り添う・言葉にする 家族の心理的サポート Q&A】児の将来に
不安を持っている家族のギモン
- 4) 竹内 章人, 高橋 立子, 永田 雅子, 福井 美保, 荒井 洋, 城所 博之, 出口 貴美子, 久保
健一郎, 井上 健, 森岡 一朗. 超早産児における神経発達症の臨床像とその病態
- 5) 中村 和恵.「母乳育児成功のための 10 カ条」が新しくなりました「BFHI 実施ガイド」と「母乳育
児がうまくいくための 10 のステップ」の発行
- 6) 渡邊 宏和, 影山 操.【新生児の観察と見きわめ・介入ポイント FGR、late preterm、吸引・鉗子
分娩、低血糖、呼吸障害 etc.出生前・後のリスクを見のがさない!】心雑音のある児
- 7) 福嶋 ゆう.【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】新生児・乳児編 栄養、排
泄など 生後 1 ヶ月頃 1 ヶ月頃から便秘になってしまいましたか?
- 8) 中村 和恵.【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】新生児・乳児編 栄養、排
泄など 乳児期 仕事を始める予定ですが、日中は母乳をあげることができません。母乳育児を継続す
るためのよい方法はありますか?

2. 学会、研究会

- 1) Antiepileptic treatment for neonatal seizures
竹内 章人
日本心エコー図学会第 30 回学術集会

2019 年 6 月 1 日

- 2) 早産児・SGA児の長期予後の諸問題 神経発達障害の臨床像
竹内 章人
第 10 回新生児栄養フォーラム 2019 年 6 月 22 日
- 3) 双治の在胎期間が乳幼児入院率・神経発達予後に与える影響について-21 世紀出生児縦断調査より-
玉井 圭
第 55 回日本周産期・新生児医学学会学術集会 2019 年 7 月 13 日
- 4) 軽症脳症とは？～予後・治療のトピックと世界の動向～
竹内 章人
第 55 回日本周産期・新生児医学学会学術集会 2019 年 7 月 14 日
- 5) VACTERL 連合疑いの姉妹で全エクソーム解析を行い Townes-Brocks 症候群の診断を得た二症例
福島 ゆう
第 55 回日本周産期・新生児医学学会学術集会 2019 年 7 月 14 日
- 6) なぜ Mild HIE が注目されているか？ Mild HIE の発達予後
竹内 章人
第 64 回日新生児育成医学会・学術集会 2019 年 11 月 26 日
- 7) カルバマゼピンによる治療が有効であった KCNQ2-related neonatal epilepsy の一例
竹内 章人
第 64 回日新生児育成医学会・学術集会 2019 年 11 月 26 日
- 8) 早産児の神経発達症とディベロップメンタルケア
竹内 章人
第 8 回日本発達神経科学学会 2019 年 11 月 24 日
- 9) 1p36 欠失症候群の 3 例
服部 真理子
第 71 回中国四国小児科学会 2019 年 11 月 10 日
- 10) 後期早産児及び前期正期産児の 2.5 歳児の神経発達予後
中村 信
第 64 回日本新生児育成医学会 2019 年 11 月 28 日
- 11) 早産児・SGA 児の行動発達
竹内 章人
第 33 回小児脂質研究会 2019 年 12 月 1 日
- 12) Associations of birth weight for gestational age with child health and neurodevelopment among term infants a nationwide japanese population-based study
玉井 圭
Hot topics Neonatology 2019 2019 年 12 月 10 日
- 13) 過去 10 年間に当院で胎児輸血を実施した新生児の予後に関する検討
森 茂弘
第 17 回日本胎児治療学会学術集会 2019 年 12 月 6 日
- 14) 口蓋裂を有する新生児の哺乳状況

大山 麻美

第 34 回母乳哺育学会

2019 年 9 月 14 日

- 15) ウィルソン・ミキティ症候群を合併した出生体重 1500g 以上の早産児

佐藤 剛史

第 92 回日本小児科学会岡山地方会

2019 年 12 月 1 日

- 16) 正期産児および Late Preterm の AGA 児の小頭症に関する調査

原 成未

岡山小児医療研究会

2019 年 6 月 2 日

- 17) 10 年間に経験した慢性早剥羊水過少症候群(chronic abruption oligohydroamnions sequence: CAOS) ～新生児科的検討～

福島 ゆう

岡山新生児研究会

2020 年 1 月 17 日

- 18) Late Preterm 児に対する出生前ステロイドの効果に関する検討

渡邊 宏和

第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会

2019 年 7 月 14 日

3 講演

- 1) 第 11 回中国四国骨系等・内分泌懇話会

福島 ゆう

第一セントラルビル

2019 年 10 月 19 日

- 2) SGA&Noonan syndrome nordiscience conference in 大阪

竹内 章人

TKP ガーデンシティ東梅田

2019 年 10 月 27 日

- 3) 第 33 回日本小児脂質研究会ランチョンセミナー

竹内 章人

熊本市国際交流会館

2019 年 12 月 1 日

● 診療科の特色

1. 造血器腫瘍ならびにその他の血液疾患を診療。特にリンパ系悪性腫瘍の治療および血液疾患の造血幹細胞移植が中心。
2. 造血器腫瘍では急性・慢性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫など多剤併用化学療法、分子標的療法を行っている。
3. 造血幹細胞移植は平成 3 年より開始し、現在自家造血幹細胞移植は 249 例、同種造血幹細胞移植は 183 例、臍帯血移植は 16 例施行。
4. 当科の特徴として、非血縁者骨髄移植および非血縁者臍帯血移植の認定施設である。
5. 多発性骨髄腫の診療に関しては国内では中心的存在であり、分子標的療法や若年者に対しては積極的に造血幹細胞移植を行っている。

● 診療実績

1. 主要疾患年間入院患者数 新入院患者数 883 人

	疾患	患者数
1	急性骨髄性白血病	78
2	急性リンパ性白血病	15
3	慢性骨髄性白血病	12
4	慢性リンパ性白血病	5
5	悪性リンパ腫	333
6	多発性骨髄腫(形質細胞腫、白血病を含む)	141
7	骨髄異形成症候群	160
8	再生不良性貧血	16
9	特発性血小板減少性紫斑病	17
10	その他	106

2. 主要疾患年間新規患者数 171 人

疾患名(総数)		主要分類		症例数
1	急性骨髄性白血病 (14)	WHO 分類	未分化型 AML	1
			分化型 AML	3
			骨髄異形成関連変化を伴う AML	2
			AML with t(8;21)(q22;q22); RUNX1-RUNX1T1	3
			APL with t(15;17) and variants	2
			AMMoL	3
2	急性リンパ性白血病 (1)	WHO 分類	B-ALL	1

3	慢性骨髄性白血病 (6)	病期	慢性期	6
4	慢性骨髄単球性白血病 (3)	病期	慢性期	3
5	悪性リンパ腫 (75)		MALT リンパ腫	2
			濾胞性リンパ腫	21
			びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	42
			マントル細胞リンパ腫	1
			ホジキンリンパ腫	3
			末梢性 T 細胞リンパ腫	2
			血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫	1
			縦隔原発大細胞型 B 細胞リンパ腫	1
			原発性滲出性リンパ腫	2
6	形質細胞腫瘍 (36)		多発性骨髄腫(形質細胞腫、白血病を含む)	23
			MGUS	13
7	骨髄異形成症候群 (11)	WHO 分類	RCMD	3
			RARS	2
			RAEB- I	2
			RAEB- II	3
			単独 5q-を伴う MDS	1
8	再生不良性貧血 (7)			7
9	特発性血小板減少性紫斑病(18)			18

3. 造血幹細胞移植

2019 年度	血縁間 同種骨髄移 植	非血縁 者 同種骨 髄移植	血縁間 同種末 梢血幹 細胞移 植	自家末 梢血幹 細胞移 植	臍帯血移植	計
急性骨髄性白血病	0	2	1	0	0	3
急性リンパ性白血病	0	1	0	0	0	1
悪性リンパ腫	0	2	0	1	0	3
多発性骨髄腫	0	0	0	4	0	4
再生不良性貧血	0	0	0	0	0	0
骨髄異形成症候群	0	3	0	0	0	3
AL アミロイドーシス	0	0	0	0	0	0
計	0	8	1	5	0	14

●研究業績

1.論文発表

- 1) Dimopoulos MA, Jakubowiak AJ, McCarthy PL, Orlowski RZ, Attal M, Bladé J, Goldschmidt H, Weisel KC, Ramasamy K, Zweegman S, Spencer A, Huang JSY, Lu J, Sunami K, Iida S, Chng WJ, Holstein SA, Rocci A, Skacel T, Labotka R, Palumbo A, Anderson KC.
Developments in continuous therapy and maintenance treatment approaches for patients with newly diagnosed multiple myeloma. *Blood Cancer J.*2020.10.17
- 2) Yokoyama A, Kada A, Saito AM, Sawamura M, Komeno T, Sunami K, Takezako N.
Phase II Study of Treatment for Newly Diagnosed Multiple Myeloma Patients Over 75 Years Old with Alternating Bortezomib/dexamethasone and Lenalidomide/dexamethasone: the MARBLE Trial. *Acta Med Okayama.*2019.73. 547–552
- 3) Ikeda T, Mori K, Kawamura K, Mori T, Hagiwara S, Ueda Y, Kahata K, Uchida N, Tsukada N, Murakami S, Yamamoto M, Takahashi T, Ichinohe T, Onizuka M, Atsuta Y, Kanda Y, Okamoto S, Sunami K, Takamatsu H.
Comparison between autologous and allogeneic stem cell transplantation as salvage therapy for multiple myeloma relapsing/progressing after autologous stem cell transplantation. *Hematol Oncol.*2019.37. 586–594
- 4) Sugiura I, Suzuki K, Ri M, Chou T, Takezako N, Sunami K, Ishida T, Izumi T, Ozaki S, Shumiya Y, Iida S.
Final results of a phase I study of carfilzomib, lenalidomide, and dexamethasone for heavily pretreated multiple myeloma. *Int J Hematol.*2020.111. 57–64
- 5) Iida S, Watanabe T, Matsumoto M, Suzuki K, Sunami K, Ishida T, Ando K, Chou T, Ozaki S, Taniwaki M, Uike N, Shibayama H, Hatake K, Izutsu K, Ishikawa T, Shumiya Y, Tobinai K.
Carfilzomib monotherapy in Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: A phase 1/2 study. *Cancer Sci.*2019.110. 2924–2932
- 6) Suzuki K, Doki N, Meguro K, Sunami K, Kosugi H, Sasaki O, Takagi T, Murakami H, Shimizu K.
Report of phase I and II trials of melphalan, prednisolone, and thalidomide triplet combination therapy versus melphalan and prednisolone doublet combination therapy in Japanese patients with newly diagnosed multiple myeloma ineligible for autologous stem cell transplantation. *Int J Hematol.*2019.110. 447–457
- 7) Richardson PG, Oriol A, Beksac M, Liberati AM, Galli M, Schjesvold F, Lindsay J, Weisel K, White D, Facon T, San Miguel J, Sunami K, O’Gorman P, Sonneveld P, Robak P, Semochkin S, Schey S, Yu X, Doerr T, Bensmaine A, Biyukov T, Peluso T, Zaki M, Anderson K, Dimopoulos M; OPTIMISMM trial investigators.
Pomalidomide, bortezomib, and dexamethasone for patients with relapsed or refractory multiple myeloma previously treated with lenalidomide (OPTIMISMM): a randomised, open-label, phase 3 trial. *Lancet Oncol.*2019.20. 781–794
- 8) Ozaki S, Handa H, Saitoh T, Murakami H, Itagaki M, Asaoku H, Suzuki K, Isoda A, Matsumoto M, Sawamura M, Sunami K, Takezako N, Hagiwara S, Kuroda Y, Chou T, Nagura E, Shimizu K.
Evaluation of the Revised International Staging System (R-ISS) in Japanese patients with multiple

myeloma. Ann Hematol.2019.98. 1703-1711

- 9) Sunami K, Matsumoto M, Fuchida SI, Omoto E, Takamatsu H, Adachi Y, Choi I, Fujishima N, Kiguchi T, Miyamoto T, Maeda A, Suzumiya J, Yamamura R, Nagafuji K, Nakazato T, Kuroda Y, Yujiri T, Takamatsu Y, Harada M, Akashi K.

Bortezomib-based strategy with autologous stem cell transplantation for newly diagnosed multiple myeloma: a phase II study by the Japan Study Group for Cell Therapy and Transplantation (JSCT-MM12). Int J Clin Oncol.2019.24. 966-975

- 10) Mizuno S, Kawamura K, Hanamura I, Sunami K, Mori T, Nakamura F, Iida S, Nakazawa H, Makita M, Kako S, Sawa M, Ueda Y, Takahashi H, Kanda Y, Ichinohe T, Atsuta Y, Takamatsu H, Takami A.

Efficacy and safety of autologous stem cell transplantation in patients aged ≥ 65 years with multiple myeloma in the era of novel agents. Bone Marrow Transplant.2019.54. 1595-1604

- 11) Takase K, Nagai H, Kadono M, Yoshioka T, Yoshio N, Hirabayashi Y, Ito T, Sawamura M, Yokoyama A, Yoshida S, Tsutsumi I, Otsuka M, Suehiro Y, Hidaka M, Yoshida I, Yokoyama H, Inoue H, Iida H, Nakayama M, Hishita T, Iwasaki H, Kada A, Saito AM, Kuroda Y.

High-dose dexamethasone therapy as the initial treatment for idiopathic thrombocytopenic purpura. Int J Hematol.2020.111. 388-395

- 12) 血管内リンパ腫様に血管周囲および血管内に再発したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫

石川 立則, 福見 拓也, 守山 喬史, 村上 裕之, 永喜多 敬奈, 吉岡 尚徳, 牧田 雅典, 神農 陽子, 角南 一貴

臨床血液.2019.10.19.60 巻. 1455-1461

2.学会・研究会

- 1) Pomalidomide+bortezomib+low-dose dexamethasone in relapsed refractory multiple myeloma:optimism Japanese subgroup analysis

角南一貴

第 44 回 日本骨髄腫学会学術集会, 2019 年 5 月 12 日, 愛知県

- 2) 当院における再発難治性骨髄腫に対するカルフィルゾミブの治療成績

守山喬史

第 44 回 日本骨髄腫学会学術集会, 2019 年 5 月 12 日, 愛知県

- 3) 当院における多発性骨髄腫に対する自家移植の治療成績

角南一貴

第 67 回 日本輸血・細胞治療学会学術集会, 2019 年 5 月 25 日, 熊本県

- 4) 再発難治性多発性骨髄腫に対するダラツムマブ治療

角南一貴

第 81 回 日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 13 日, 東京都

3.講演

- 1) 実臨床におけるクリニカルクエスチョンを考える

角南 一貴

Meet The Expert, 2019 年 4 月 6 日, 東京都

- 2) 当院における eltronbopag の使用経験
吉岡 尚徳
再生不良性貧血治療のこれまでとこれから, 2019 年 4 月 12 日, 岡山市
- 3) 再発難治性多発性骨髄腫の治療
角南 一貴
関東・東北骨髄腫カンファレンス in 東京, 2019 年 4 月 13 日, 東京都
- 4) 濾胞性リンパ腫の治療
角南 一貴
第 58 回岡山県病院薬剤師会がん化学療法研究会, 2019 年 4 月 23 日, 岡山市
- 5) 多発性骨髄腫に対する治療戦略～カイトロリスの使用経験～
角南 一貴
カイトロリス WEB ライブセミナー, 2019 年 4 月 23 日, 大阪府
- 6) 当院におけるベンダムスチンの使用状況
村上 裕之
Meet The Expert of Lymphoma, 2019 年 4 月 26 日, 岡山市
- 7) 再発難治性多発性骨髄腫に対する治療戦略
角南 一貴
Multiple Myeloma Seminar in Tottori, 2019 年 5 月 30 日, 鳥取県
- 8) AA の話題
牧田 雅典
Setouchi Hematology Seminar, 2019 年 6 月 7 日, 岡山市
- 9) Okayama IMiDs Conference
守山 喬史
ホテルグランヴィア岡山, 2019 年 6 月 14 日, 岡山市
- 10) West Japan AA Case Study Forum in Okinawa
牧田 雅典
沖縄県医師会館, 2019 年 8 月 3 日, 沖縄県
- 11) 血液がんと妊孕性温存
牧田 雅典
血液がんと妊孕性温存 WEB 講演会, 2019 年 10 月 25 日, 倉敷市
- 12) BMT NEXT Meeting in Okayama
吉岡 尚徳
ホテルグランヴィア岡山, 2019 年 10 月 26 日, 岡山市
- 13) 再生不良性貧血治療の最前線
石川 立則
再生不良性貧血治療の最前線 in 岡山, 2020 年 2 月 7 日, 岡山市

● 診療科の特色

糖尿病治療アルゴリズムは低血糖リスクを減らし、体重増加を来さない治療薬の登場によって近年飛躍的に進歩し大きく変化しています。一方、超高齢化社会に突入した日本においてサルコペニア、フレイル、認知症といった新たな社会問題が生じ、予防、治療への対策が急務な課題として取り上げられています。

上記課題に関して、当科では糖尿病・脂質代謝、高血圧症を中心とした生活習慣病領域全般にわたって、外来および入院診療に取り組んでいます。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士など多くのスタッフが一体となって協力・連携し、患者様のセルフケアをサポートする「チーム医療」に力を入れて取り組んでいます。

具体的には持続血糖測定 (CGM : continuous glucose monitoring)、FGM (flash glucose monitoring)、パーソナル CGM 機能を搭載したインスリンポンプ療法 (SAP: sensor augmented pump) などを積極的に導入し、低血糖予防、1 日血糖変動推移の見える化を図ることによって、患者様が安心・納得して最新の医療を受けて頂けるよう努めています。

さらに、グルコスクランプやインピーダンス法・DEXA 法による体組成計測検査器機を用いてインスリン感受性・抵抗性の評価を行い、グルカゴン負荷試験、食事負荷試験を用いて内因性インスリン分泌能の評価、握力、歩行速度、開眼片足立ち時間の計測によるフレイル、サルコペニアの評価、DASC-8、MMSE を用いて認知・生活機能、高齢者の血糖コントロール目標設定のためのカテゴリー分類を評価することによって患者様個々の病態に即して可能な限り適切な治療を行っています。

フットケア外来では、皮膚科、形成外科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科とフットケアユニットを形成し、足切断ハイリスク患者の予防的ケアから潰瘍治療まで行っています。

2017 年 10 月より、当科で甲状腺・内分泌疾患の診療も開始しており、今年度はおよそ 470 名の診療にあたっています。甲状腺疾患としてバセドウ病、慢性甲状腺炎（橋本病）、亜急性甲状腺炎、甲状腺腫瘍などの診療を行っております。甲状腺超音波検査は年間約 290 例を自科で施行しています。超音波ガイド下の穿刺細胞診も施行可能です。

バセドウ病の治療には内服療法・手術療法・アイソトープ療法があります。当科では内服療法のほかにアイソトープ治療も対応可能です。手術療法の適応となる患者様については乳腺・甲状腺外科に院内紹介し連携で治療を行っています。患者様ひとりひとりに最適と思われる方法を提案しています。

ほか、下垂体疾患（下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症など）、副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症・低下症など）、副腎疾患（原発性アルドステロン症、副腎性クッシング症候群、褐色細胞腫など）をはじめとした内分泌疾患全般にわたり診療しています。原発性アルドステロン症精査に必要な副腎静脈サンプリングは放射線科と連携して行っています。

低血糖症の診療においては糖代謝の観点と内分泌の観点からの病態把握・鑑別診断が必要です。当科では各種負荷試験や画像検査を行い、インスリンノーマなどが疑われる場合には放射線科と連携で ASVS（選択的カルシウム動注後肝静脈サンプリング）を施行し精査を行っています。

常時 10～15 名/日の糖尿病教育入院患者がいますが、外科手術の周術期管理や妊娠管理を要するハイリスク他科入院患者の管理も月 80～100 名とかなりの症例数を誇っており、糖尿病学会認定教育施設として豊富な症例を経験でき、質・量ともに充実した研修を行う事ができます。また学会発表、論文投稿も積極的に行っています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

新入院患者数 293 人

	疾患	患者数
1	2 型糖尿病	188
2	1 型糖尿病(うち緩徐進行 1 型 23 名)	29
3	膵性糖尿病	0
4	糖尿病性腎症	11
5	糖尿病性ケトアシドーシス	2
6	高浸透圧性糖尿病性昏睡	9
7	低血糖症	7
8	その他	47

なお「8 その他」には、

甲状腺・内分泌疾患として、低ナトリウム血症 5 名、バセドウ病・甲状腺機能亢進症 4 名(うち甲状腺クリーゼ 1 名)、原発性アルドステロン症 2 名、低カリウム血症 2 名、ACTH 単独欠損症 1 名、下垂体機能低下症 1 名、プラナー病 1 名、良性副腎皮質腫瘍 1 名を含む。また、糖尿病性ケトアシドーシス 17 名、シックデイ 4 名、ステロイド糖尿病 2 名、妊娠糖尿病 1 名、アルコール離脱せん妄 1 名、インスリン自己免疫症候群 1 名、ヘルペス脳炎 1 名、細菌性肺炎 1 名、ほか 1 名を含む。

2. 教育入院関連諸実績

自己注射指導	合計	153
	うち新規導入	20
自己血糖測定指導	合計	126
	うち新規導入	18
糖尿病教室参加	カンバセーションマップ参加	165
	バイキング参加	189
CSII	のべ入院 CSII 患者	15
	うち新規導入	2
	うち SAP 導入	5
持続血糖モニター装着	のべ装着	28
	うち SAP 導入	5

3. フットケア外来実績: 入院 3 名、外来 42 名、計 45 名

4. バセドウ病に対するアイソトープ治療(¹³¹I 内照射)実績: 入院 1 名、外来 8 名、計 9 名

● 研究業績

1. 論文発表

1) 1 型糖尿病、慢性甲状腺炎、原発性胆汁性胆管炎を同時診断し得た多腺性自己免疫症候群 (APS) 3 型の一例
渡邊聡子, 武田昌也, 須藤梨沙, 天田雅文, 松下裕一, 伊勢田泉, 肥田和之

2020 年 3 月 30 日

2. 学会、研究会

1) 糖尿病性単神経障害との識別を要した、脳低動脈の圧迫による左外転神経麻痺の一例

石井 貴大

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 6 日

2) 試薬間におけるコレステロール値の差異を直接測定法にて比較検討したホモ CETP 欠損症の 1 例

肥田 和之

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 7 日

3) 副腎不全と反応性低血糖による空腹時低血糖症の一例

大井 祐貴子

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 7 日

3. 講演

1) 医療統計を正しく解き解す！ 糖尿病治療のツボとドツボは紙一重

肥田 和之

都窪医師会学術講演会

2019 年 5 月 21 日

2) 高齢化に負けるな！ 健康寿命：ツボとドツボは紙一重

肥田 和之

第 27 回血糖自己測定の家

2019 年 6 月 1 日

3) 基礎から学ぶ脂質異常症の勘所 日常診療に潜む脂質異常症：診断・治療の解体新書

肥田 和之

Kowa Web カンファレンス

2019 年 6 月 10 日

4) HypoGlycemic Attackのエッセンス！ ～低血糖に秘める裏側を科学する～

肥田和之

Insulin Expert Seminar in OKAYAMA

2019 年 6 月 14 日

5) 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて 健康寿命のツボとドツボは紙一重

肥田和之

松永沼隈地区医師会学術講演会

2019 年 6 月 21 日

6) 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて 健康寿命のツボとドツボは紙一重

肥田 和之

御津医師会学術講演会

2019 年 6 月 28 日

7) 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて 健康寿命のエッセンス: ツボとドツボは紙一重

肥田 和之

木田地区医師会学術講演会

2019 年 7 月 16 日

8) 「超高齢社会のエッセンス！」～高齢者糖尿病治療: ツボとドツボは紙一重～

肥田 和之

岡山糖尿病 Total Care Web Seminar 2019

2019 年 7 月 25 日

9) 糖尿病と高尿酸血症 もっと早く知っておけばよかった尿酸のエッセンス

肥田 和之

赤磐医師会学術講演会

2019 年 7 月 26 日

10) 「高齢者糖尿病治療の勘所～どうする！超を超えた日本超高齢化社会～」

肥田 和之

第 16 回 備前・和気代謝疾患臨床懇話会

2019 年 7 月 29 日

11) ”思い込みを正しく解き解す！” 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて

肥田 和之

糖尿病治療の最前線

2019 年 8 月 1 日

12) 超高齢社会のエッセンス 高齢者糖尿病の治療: 備えあれば憂いなし

肥田 和之

Diabetes Web Seminar

2019 年 9 月 3 日

13) 「超高齢社会を迎え撃つ先制医療」

肥田 和之

鯖江市医師会勉強会

2019 年 10 月 10 日

14) 超高齢社会を迎え撃つ先制医療！ 高齢者糖尿病治療の勘所

肥田 和之

第 4 回 4H 医療カンファレンス

2019 年 10 月 18 日

15) 脂質異常症

肥田 和之

岡山県医師会認定かかりつけ医研修会

2019 年 10 月 20 日

16) ”思い込みを正しく解き解す！” 理論で迎え撃つ糖尿病の実臨床

肥田 和之

TAISHO Medical Forum in 高梁

2019 年 10 月 24 日

17) ヒト糖尿病性腎症(糸球体硬化症)の予防を目指す研究 感受性遺伝子の同定と生活環境因子の影響

肥田 和之

第 73 回国立病院総合医学会

2019 年 11 月 9 日

18) 糖尿病治療の変曲点 曲がり角の Cutting edge

肥田 和之

T2DM Forum in Okayama

2019 年 11 月 13 日

19) 糖尿病治療の事始 インクレチン&メトホルミン相互作用の解体新書

肥田 和之

DiaMond Seminar in 岡山

2019 年 11 月 22 日

20) 超高齢社会突入: 予防しよう動脈硬化 糖尿病は甘くない

肥田 和之

生活習慣病のことがよく分かるお話

2019 年 11 月 23 日

21) 超高齢社会を迎え撃つ健康寿命の重要性!

肥田 和之

吉備中央町愛育委員会全体研修会

2019 年 12 月 1 日

22) 糖尿病治療の変曲点 曲がり角の cutting edge

肥田 和之

医師のキャリアアップ研究会

2019 年 12 月 7 日

23) 地域医療構想を踏まえた糖尿病診療 糖尿病治療の変曲点

肥田 和之

第 17 回備前・和気代謝疾患臨床懇話会

2019 年 12 月 17 日

● 診療科の特色

1. 受診すべき科がわからないときに内科初診外来として専門科へつないでいます。
2. プライマリ・ケア領域の急性疾患については当科で診断治療させていただいています。
3. 科を越えて横断的な対応が必要な患者さんや診断がつかないまま症状が窮迫している患者さんの入院主科として治療や療養にあたっています。
4. 感染症科と協力し適正な感染症治療の実現を目指しています。
5. 研修医の診療の基礎を築く手助けになるよう指導をこころがけています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 431 人(転科患者を除く)

	疾患	患者数
1	誤嚥性肺炎	88
2	細菌性肺炎	54
3	腎盂腎炎	45
4	敗血症	15
5	脱水症	15

入院患者は高齢者が多く、誤嚥性肺炎を含めた肺炎と腎盂腎炎や尿路敗血症などの尿路感染症が入院疾患の約半分を占めていました。これらの入院層は、背景疾患を多く持ち、看護や介護の比重が高く、福祉への連携が必要となることがままあります。関係他科や他職種の協力をいただくことがスムーズな退院の実現には欠かせません。

● 研究業績

1. 学会、研究会

当院で経験した日本紅斑熱 4 症例から学んだこと

服部瑞穂

日本内科学会第 121 回中国地方会, 2019 年 10 月 5 日, 岡山県

● 診療科の特色

1. 院内診療(コンサルテーション・リエゾン精神医学、サイコオンコロジー)

- 1) 精神科は医師数が少ないため入院患者様の治療を優先的に行っている。身体疾患の入院治療中に生じる様々な精神的トラブル(強い不安、抑うつ、せん妄など)に対して専門的な診察・合理的薬物療法・精神療法を行っており、担当スタッフと連携して、患者様とご家族の生活の質の改善を支援している。
- 2) 当院の緩和ケアチームの精神腫瘍学(サイコオンコロジー)担当医として、悪性疾患の入院患者様の精神症状緩和に注力している。
- 3) 従来から精神疾患(統合失調症・躁うつ病・うつ病・アルコール使用障害・ストレス障害など)で治療中の患者様が、身体の病気のため当院への入院が必要になった場合において、精神科治療が途切れてしまわないよう、通院先の主治医と連携して継続診療にあたっている。

2. 外来診療(一般成人臨床精神医学)

メンタル面の不調は多くの人が抱える身近な問題である。当科では、うつ病・不安症などを中心に多様な精神疾患に対する診療を行っている。基本は一般精神科外来であり、専門外来(児童思春期外来・重度摂食障害・認知行動療法・家族療法・精神分析など)は行っていない。なお、当院は急性期病院であり、常勤精神科医師が1名であるため、精神科診療においては外来を二義的、再診中心としており、このため院外からの精神科初診を休止している。

● 入院診療実績

当院には精神科の入院病床および病棟がないので、入院診療実績はない。なお、精神科入院が必要と判断される患者様には適切な精神科病院への紹介を行っている。

● 研究業績

1. 学会、研究会

なし

2. その他

- 1) 緩和ケア臨床における精神症状の診断・治療, コミュニケーションスキル
当院緩和ケア研修会 2019年10月27日
- 2) 緩和ケア臨床における精神症状の診断・治療, コミュニケーションスキル
津山中央病院 緩和ケア研修会 2019年10月20日

● 診療科の特色

1. 上部消化器、下部消化器、胆膵内視鏡を中心に、消化器疾患全般を診療している。
2. 上下部内視鏡において、腫瘍の早期発見、範囲同定を拡大観察や特殊光を用いた狭帯光観察(NBA)で行っている。
3. 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を用いた、消化管の早期癌に対する内視鏡的治療に力を入れている。
4. ダブルバルーン小腸内視鏡、小腸カプセル内視鏡の両方を導入しており、多彩な小腸疾患にも対応可能である。
5. B 型肝炎・C 型肝炎治療、ラジオ焼灼治療、肝動脈塞栓術を用いた、肝疾患の治療も積極的にしている。
6. 各消化器癌に対する積極的な化学療法を入院および外来にて行っている。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

年間入院患者数 969 人

	疾患	患者数
1	大腸ポリープ・直腸ポリープ・大腸腺腫・直腸腺腫	259
2	大腸癌・直腸癌	195
3	胃癌	148
4	胆石性胆管炎・胆石性胆のう炎・総胆管結石	125
5	食道癌	18
6	結腸憩室・憩室炎・憩室出血	45
7	膵癌	55
7	急性膵炎	34
9	胆管癌	33
10	イレウス・腸閉塞	57

2. その他

1) 特殊検査法

	特殊検査法	症例数	合併症の有無	死亡退院数
1	上部消化管内視鏡検査	2,775	なし	0
2	下部消化管内視鏡検査	1,469	なし	0
3	胆膵内視鏡検査	227	なし	0
4	カプセル内視鏡(小腸・大腸)	32	なし	0
5	ダブルバルーン小腸内視鏡	15	なし	0

2) 特殊治療法

特殊治療法別	処置合併症とその内容	症例数
内視鏡的	食道 ESD	3
	胃 ESD	69
	大腸 ESD	32
	胃 EMR	5
	十二指腸 EMR	3
	大腸 EMR	279
	EUS 専用	33
	EUS ブローベ	42
	FNA	17
	ERBD	97
	EST・碎石	53
化学療法	下咽頭癌	4
	食道癌	6
	胃癌	46
	胃間葉系腫瘍	3
	小腸癌	12
	結腸・直腸	117
	肛門管癌	5
	肝細胞癌	3
	胆道癌	12
	膵癌	18
	原発不明癌	4
インターベンション	腹部血管造影・塞栓術	10

3) 研修、教育

	開催頻度
消化器内視鏡カンファレンス	4 回／月
消化器症例カンファレンス	4 回／月
消化器・放射線科・外科合同カンファレンス	3 回／月
地域合同 ESD カンファレンス	1 回／月
消化器内科がんサージボード	1 回／月
抄読会	2 回／月
その他	

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) 若槻 俊之, 万波 智彦, 佐柿 司, 永原 華子, 須藤 和樹, 坂林 雄飛, 福本 康史, 古立 真一, 清水 慎一. 【早期胃癌の範囲診断 up to date】早期胃癌の範囲診断-範囲診断困難例とその臨床的対応 分化型癌 H.pylori 現感染と除菌後の比較
- 2) 万波智彦, 園部 宏, 藤原延清. 【いま知っておきたい食道良性疾患】食道良性腫瘍および腫瘍様病変の診断 リンパ管腫 Lymphangioma

2. 学会、研究

- 1) 超音波を通して、病理像をみる
若槻俊之
第 68 回 日本医学検査学会 2019 年 5 月 19 日
- 2) 上部消化管出血に対する緊急内視鏡の現状と改善点
若槻俊之
早期胃癌研究会(第 58 回「胃と腸」大会)、第 97 回日本消化器内視鏡学会総会
2019 年 6 月 1 日
- 3) 日本消化器内視鏡学会
万波智彦
日本消化器内視鏡学会 2019 年 6 月 2 日
- 4) 胃に発生した脱分化型脂肪肉腫の 1 例
坂林雄飛
第 111 回日本消化器病学会 中国支部例会 2019 年 6 月 15 日
- 5) 食道扁平上皮癌に対する拡大内視鏡分類の検証
若槻俊之
第 122 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会 2019 年 6 月 30 日
- 6) 胃の生検診断における現状と課題—上皮性腫瘍を疑って生検を執行した症例の経過を踏まえて
福本康史
第 122 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会 2019 年 6 月 30 日
- 7) 食道病変の基本的読影方法
若槻俊之
第 1 回 new HERO 研究会 2019 年 7 月 6 日
- 8) 食道病変の 1 例(症例呈示)
若槻俊之
第 1 回 new HERO 研究会 2019 年 7 月 6 日
- 9) A case of pseudoprogession in patients with recurrent gastric cancer treated with nivolumab
古立真一
第 17 回 日本臨床腫瘍学会学術集会 2019 年 7 月 19 日
- 10) JES B2 領域内に JES B1 の混在を認めた食道表在癌の 1 例
若槻俊之
第 80 回 食道色素研究会 2019 年 7 月 20 日

- 11) 上部消化管出血に対する新スコアリングシステム
若槻俊之
NHO 研究消化器ネットワークグループ会議 2019 年 8 月 9 日
- 12) 診断困難例について
若槻俊之
第 3 回 非癌研究会 2019 年 8 月 11 日
- 13) 不整な微小血管構築像が範囲診断に有用であった除菌後胃癌の 1 例
福本康史
第 22 回 九州胃拡大内視鏡研究会 2019 年 8 月 4 日
- 14) WHAT KIND OF EARLY GASTRIC CANCER AFTER H.PYLORI ERADICATION IS DIFFICULT TO DIAGNOSE ?
若槻俊之
第 27 回欧州消化器病週間(UEGW2019) 2019 年 10 月 24 日
- 15) VALIDATION OF MAGNIFYING ENDOSCOPIC CLASSIFICATION OF THE JAPAN ESOPHAGEAL SOCIETY FOR ESOPHAGEAL SQUAMOUS CELL CARCINOMA
須藤和樹
第 27 回欧州消化器病週間(UEGW2019) 2019 年 10 月 24 日
- 16) 症例検討 1
若槻俊之
第 306 回 広島 胃と腸疾患研究会 2019 年 10 月 29 日
- 17) 増殖性化膿性口内炎を契機に再燃が判明した潰瘍性大腸炎の 1 例
永原 華子
第 124 回日本消化器内視鏡学会 中国支部例会 2019 年 11 月 30 日
- 18) 表在扁平上皮癌に対する拡大内視鏡分類の検証-b2の正診率を高めるために
若槻俊之
JDDW2019 2019 年 11 月 23 日
- 19) 消化管腫瘍の内視鏡治療に対する偶発症対策 -穿孔に対するポリグリコール酸シートとフィブリン接着剤の有効性に関する検討-
万波智彦
第 123 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会 2019 年 11 月 30 日
- 20) ステロイドパルス療法後に発症した急性肝障害の 1 例
万波智彦
第 43 回日本肝臓学会西部会 2019 年 12 月 12 日
- 21) ニボルが著効した進行胃癌の 2 例
佐柿 司
第 111 回日本消化器病学会中国支部例会 2019 年 6 月 15 日
- 22) 消化器病変を含む多彩な節外病変を呈した Plasmablastic lymphoma の 1 例
佐柿 司
第 123 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会 2019 年 11 月 30 日
- 23) 内視鏡観察方法の工夫と見逃しやすい領域について

～ESD 時における PPI 投与の工夫～

若槻俊之

GAFA 研究会

2020 年 2 月 12 日

3 講演

- 1) RO7021610 の日本人の潰瘍性大腸炎患者を対象とした第 I 相反反復投与試験説明会
万波 智彦
RO7021610(FC22) Investigator Meeting 2019 年 4 月 14 日
- 2) 慢性便秘症の病態と診断治療について(仮)
山下 晴弘
岡山赤磐エリア若手医師の勉強会 2019 年 5 月 17 日
- 3) 第三回岡山 IBD エキスパートラウンドセミナー
山下 晴弘
岡山済生会総合病院 2019 年 6 月 19 日
- 4) 第 2 回岡山大腸がん肝転移治療研究会
山下 晴弘
ホテルグランヴィア岡山 2019 年 6 月 28 日
- 5) 第二回四国新潟拡大内視鏡研究会
若槻 俊之
高知赤十字病院 2019 年 7 月 13 日
- 6) 御津医師会学術講演会
万波 智彦
リーセントカルチャーホテル 2019 年 7 月 24 日
- 7) 御津医師会学術講演会
若槻 俊之
リーセントカルチャーホテル 2019 年 7 月 24 日
- 8) 岡山胆膵内視鏡セミナー
若槻 俊之
アークホテル広島 2019 年 10 月 25 日
- 9) 第 3 回神戸拡大内視鏡研究会
若槻 俊之
神戸市立医療センター中央市民病院 2019 年 11 月 30 日
- 10) GAFA 研究会
若槻 俊之
岡山県医師会館 2020 年 2 月 12 日
- 11) 岡山慢性便秘セミナー
万波 智彦
ホテルグランヴィア岡山 2020 年 2 月 27 日
- 12) 御津医師会学術講演会
万波 智彦

リーセントカルチャーホテル
13) 御津医師会学術講演会
清水 慎一
リーセントカルチャーホテル

2020 年 2 月 28 日

2020 年 2 月 28 日

● 診療科の特色

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアであり、多職種から成る緩和ケアチームでのアプローチを原則とします。

当院でも 2006 年から緩和ケアチームが活動していますが(緩和ケア推進室)、2016 年 4 月から緩和ケア専任医師による緩和ケア内科の診療が開始されました。

- ・がん患者のみならず、非がん患者の疼痛等にも対応します。
- ・外来では、がん治療中の方、身体症状の緩和が必要な方を対象に、予約制で診療を行います。
- ・当院の入院患者であって緩和ケアが必要と判断された方については、主治医からの紹介を受け、原則として緩和ケアチームで介入します。主治医と連携を取りながら身体症状の緩和を行い、また、症状や相談内容に応じて専門職種と連携して症状緩和や QOL の向上を図ります。

● 入院診療実績

当院には緩和ケア病棟及び症状緩和専用の病床が無いため、治療主科の入院患者への介入により診療を行っています。

身体症状の緩和を依頼された患者の主な症状(緩和ケアチームの介入は緩和ケア対策室に掲載)

	疾患	患者数
1	がん性疼痛	58
2	気持ちのつらさ	35
3	全身倦怠感	20
4	せん妄	16
5	呼吸困難感	14
6	嘔気、食欲不振	13
6	不眠	13
8	非がん性疼痛	9
8	不安	9
10	腹部膨満感	7
10	便秘	7

● 研究業績

1. 学会

1) 岡山医療センターにおけるがん患者へのオピオイドの使用状況と今後の課題

宮武和代、藤原慶一、岸口武寛、市由美子、三嶋美穂、小野友香、田頭尚士、中西初実、熱田幸子

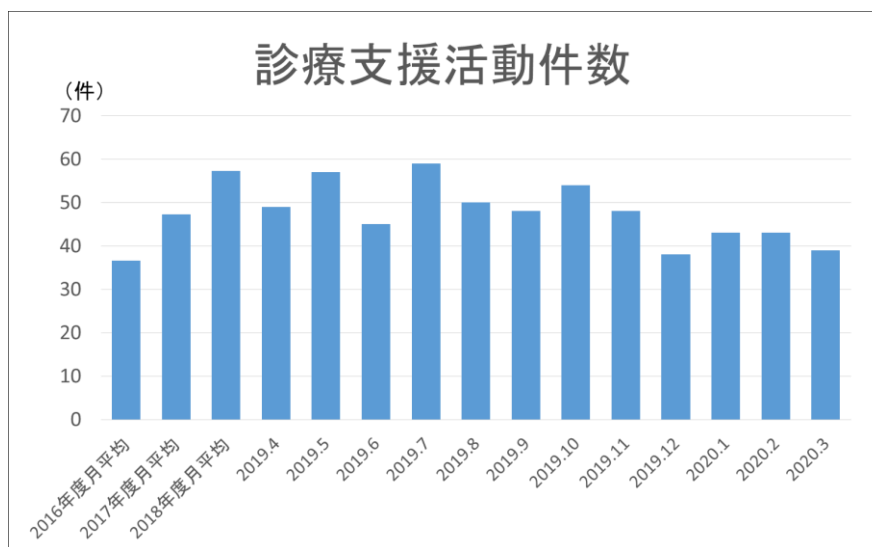
第 24 回日本緩和医療学会学術大会、2019 年 6 月 22 日

- 2) 当院における入院時症状スクリーニングについての検討
—緩和ケアを必要とする患者に緩和ケアチームが介入するために—
宮武和代、藤原慶一、岸口武寛、三嶋美穂、小野友香、市由美子、黒原かおり、高淵陽子、
吉田陽子、松尾敬子、熱田幸子
第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日
- 3) 複数の診療科医師と緩和ケアチームにより終末期の肺癌患者と家族の希望を支援した1例
—管理栄養士の関わりを中心に—
熱田幸子、中西初実、市由美子、黒原かおり、高淵陽子、三嶋美穂。小野友香、吉田陽子、
松尾敬子、古立真一、宮武和代
第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日
- 4) 終末期乳がん患者の呼吸困難にヒドロモルフォンが著効した1例
三嶋美穂、小野友香、田頭尚士、宮下広大、池内克馬、中西初実、熱田幸子、市由美子、
秋山一郎、藤原慶一、宮武和代
第2回日本緩和医療学会 中国・四国支部学術大会、2019年8月31日

● 診療科の特色

当センターに入院中または受診された患者さんを対象に各診療科の先生方から感染症(疑い)の診断や治療についての相談を受けたりアドバイスを行ったりする「感染症診療支援活動」を中心に、薬剤耐性菌拡大防止などを担う「感染対策」、学生や研修医等への感染症教育などの「教育活動」に携わっている。

1. 診療実績 2019 年度の診療支援件数は計 573 件であった。月別推移を図に示す。診療支援内容は感染症(疑い)に対する診断や治療が大多数で、その他検査や感染対策の相談があった。院内の診療科からすべてから相談を受けた。



2. 感染症教育

内科専門医研修プログラムにおいて、1ヶ月間感染症内科を選択した6人の専攻医の教育に関わった。

● 研究業績

1. 学会、研究会

1) 当センターにおける血液培養陽性例に対する抗菌薬の狭域化について

齋藤 崇、原 清美、溝内育子、清水真人、若狭愛子、向井 基修、山田晴士

第 73 回国立病院総合医学会, 2019.11.8, 名古屋

2) ヒックマンカテーテルのインジェクションキャップが感染していた *Rhizobium radiobacter* によるカテーテル関連血流感染症

山田晴士、齋藤崇、牧田雅典、柴山卓夫

第 89 回日本感染症西日本地方会学術講演会, 2019.11.9, 浜松

3) 妊娠中に感染性心内膜炎を発症し、妊娠を継続しながら手術と抗菌薬治療にて治癒しえた一例

山田晴士、齋藤崇、柴山卓夫、牧田雅典、金谷誠久、佐藤利雄

第 93 回日本感染症学会学術講演会, 2019.4.6, 名古屋

2. 講演

1) 市中肺炎・院内肺炎

齋藤 崇

平成 31 年度良質な医師を育てる研修(呼吸器疾患に関する研修会), 2019 年 9 月 6 日, 岡山

2) 感染対策、気のゆるみが大騒動

齋藤 崇

岡山協立病院 2019 年度第2回感染対策勉強会, 2019 年 11 月 20 日, 岡山

● 診療科の特色

1. 各消化器癌に対する最新かつ効果的な治療を行う。
2. エビデンスに基づいた治療を基本にするとともに、最新の臨床試験にも参加して患者に最も適した治療を選択する。
3. 医師主導治験の準備が整い次第開始予定。
4. 希少腫瘍治療にも特に力を入れて、診療を行っている。

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Kubo, Kimitoshi 1 ; Kato, Mototsugu 2 ; Mabe, Katsuhiro 2 ; Harada, Naohiko 3 ; Iboshi, Yoichiro 3 ; Kagaya, Takashi 4 ; Ono, Masayoshi 5 ; Toyokawa, Tatsuya 6 ; Yamashita, Haruhiro 7 ; Kuwai, Toshio 8 ; Hamada, Risk Factors for Delayed Bleeding after Therapeutic Gastrointestinal Endoscopy in Patients Receiving Oral Anticoagulants: A Multicenter Retrospective Study. Digestion
- 2) Higuchi, Takashi 1 ; Oka, Shomi 1 ; Furukawa, Hiroshi 1 VIAFID ORCID ロゴ ; Nakamura, Minoru 2 ; Komori, Atsumasa 2 ; Abiru, Seigo 2 ; Hashimoto, Satoru 2 ; Shimada, Masaaki 3 ; Yoshizawa, Kaname 4 ; Kouno, Hiroshi 5 ; Naganuma, Atsushi 6 VIAFID ORCID ロゴ ; Ario, Keisuke 7 ; Kaneyoshi, Toshihiko 8 ; Yamashita, Haruhiro 9 ; Takahashi, Hironao 10 ; Makita, Fujio 11 ; Yatsunashi, Hiroshi 2 ; Ohira, Hiromasa 12 ; Migita, Kiyoshi Local recurrence of diminutive colorectal polyps after cold forceps polypectomy with jumbo forceps followed by magnified narrow-band imaging: a multicenter prospective study. Scientific Reports (Nature Publisher Group); London 9
- 3) Tanioka, Hiroaki; Nagasaka, Takeshi; Uno, Futoshi; Inoue, Masafumi; Okita, Hiroyuki; Katata, Yosuke; Kanzaki, Hiromitsu; Kuramochi, Hidekazu; Satake, Hironaga; Shindo, Yoshiaki; Doi, Akira; Nasu, Jyunichiro; Yamashita, Haruhiro; Yamaguchi, Yoshiyuki The relationship between peripheral neuropathy and efficacy in second-line chemotherapy for unresectable advanced gastric cancer: a prospective observational multicenter study protocol (IVY) BMC Cancer; London 19
- 4) 岡本 香織, 渡邊 聡子, 武田 昌也, 須藤 梨沙, 天田 雅文, 松下 裕一, 神農 陽子, 山下 晴弘, 肥田 和之 1 型糖尿病、橋本病、原発性胆汁性胆管炎を同時診断し得た多腺性自己免疫症候群 3 型の 1 例 岡山医療センター年報 15, 313~315

2. 学会、研究会

- 1) 第 55 回日本肝臓学会総会 WS3—4 成因不明の急性肝障害の特徴と転帰
- 2) 赤磐地区学術講演会 慢性便秘症の病態と診断治療について